

WR600PS ファーストステップガイド

～ はじめにお読みください ～

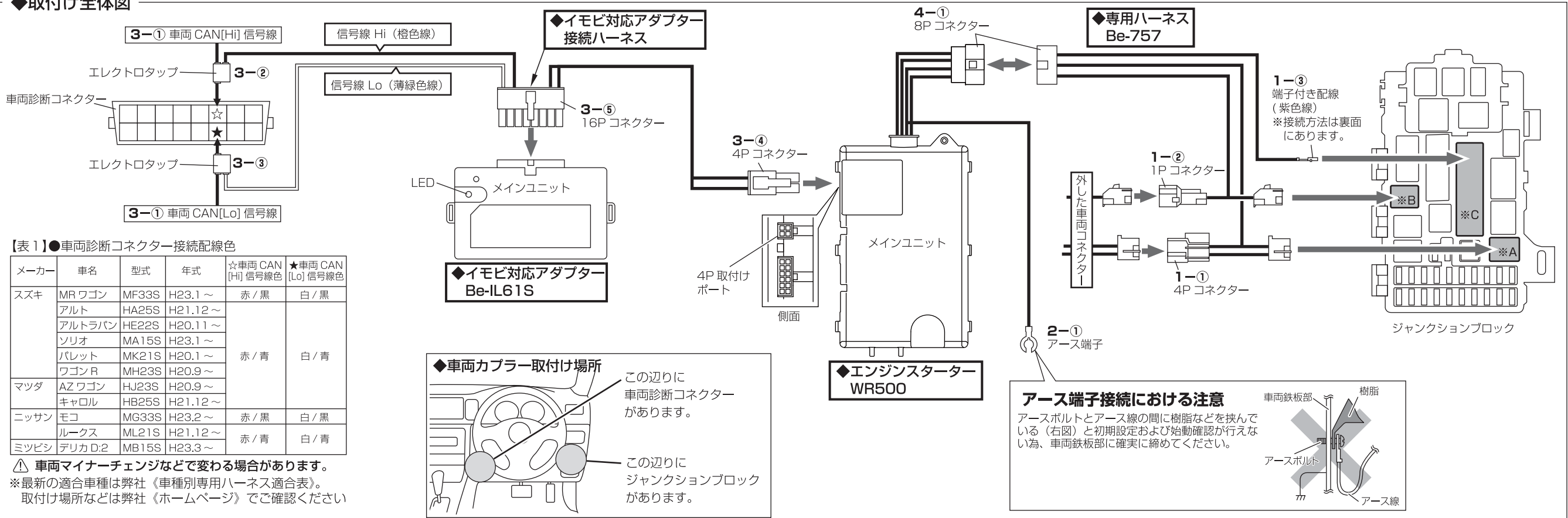
Ver2.0_912111

「WR600PS ファーストステップガイド」は簡単に取付けできるように各説明書、エンジンstarter【WR500】、イモビ対応アダプター【Be-IL61S】、専用ハーネス【Be-757】をまとめて説明しています。詳細な説明は全て各説明書にて記載されています。

◆取付け前に

- エンジンstarter WR500 の《ご使用上の注意》、イモビ対応アダプター Be-IL61S の《はじめにお読みください》、《取付け前の注意》を必ずはじめにお読みください。
- 本製品は WR500 をそのまま使用致しますが、一部使用出来ない機能があります。ご了承ください。
- プッシュスタートシステム車両の仕様上、下記の様な制限があります。
 - ・オートライトコントロール装備車は、ライトスイッチが AUTO の位置で本機を作動させるとオートライト機能が正常に作動しません。ライトスイッチは必ず OFF の位置にしてご使用ください。
 - ・本機によるアイドリング中は、純正リモコンにてドアロック、アンロックができなくなります。その場合は一旦エンジンを停止してから、純正リモコンでボタン操作ください。
 - ・ターボタイマー機能は使用できません。(車両故障の原因となります)
 - ・乗車するときには、必ずエンジンstarterでエンジンを停止してから、手動でエンジンを始動し運転してください。
- 純正セキュリティアラームを設定している場合、純正リモコンでドアロックした後に、エンジンstarterリモコンのドアロック機能を使用しドアを開けると純正セキュリティアラームが鳴ります。エンジンstarterのリモコンで一度エンジンを停止したあと純正キーレスエントリーでドアアンロックするか、必ず純正セキュリティアラームの設定を車両側で OFF にして使用ください。
- 製品取付け時、オーディオ・ナビゲーション・時計等がリセットされる場合があります。
- オートクルーズや電動チルトステアリングシステム装備車では、正常に作動しない場合があります。
- オートドアロックシステム付き車の場合、エンジンstarterによる始動やアイドリング終了時オートドアロックシステムによりドアのアンロックが行われますので本製品の取付けはできません。

◆取付け全体図



◎バッテリー交換した時 (③を始めに行なってください。その後スターターでエンジン始動できない場合は①から初期設定を行なってください。)

5.コネクターのロックを戻し、黒レバーをコネクターに取付け、黒レバーを45度のままの状態ではジャンクションブロックに接続し黒レバーを押し込み元の状態にします。

イモビ対応アダプター
Be-IL61S

〒470-0206 愛知県みよし市荻生町下石田60番
サービス部 お問い合わせ電話番号
電話0561-36-5654
お問い合わせ時間10:00～18:00
※弊社の都合により日時は変更する場合があります。
ホームページ <http://www.e-comtec.co.jp>

株式会社コムテック
Ver1.0_108011

◆はじめにお読みください

- ・本製品の取付けには専門知識が必要です。お客様ご自身での取付けサポートは行なっておりません。
- ・弊社エンジンスターター対応の機種のみ取付けが可能です。
- ・適合車種以外は取付けできません。
- ・本製品はエンジンスターターで作動中のみ一時的にイモビライザー機能を解除します。ご契約されている一部車両保険等の契約に支障をきたす可能性がありますのでご契約の保険会社に必ずご確認ください。
- ・本製品使用中、万一取付け車に盗難等の被害が発生しても弊社保証は一切ありません。
- エンジンスターター機能について
- ・ターボタイマー機能は使用できません。車両故障の原因になりますので絶対に使用しないでください。
- ・エンジンスターターリモコンのドアロック機能を使用しドアを開けると純正セキュリティアラームが鳴ります。必ず純正セキュリティアラームの設定を車両側で OFF にしてください。もしくはエンジンスターターリモコンで一度エンジンを停止した後、純正のキーレスでドアアンロックしてください。

◆取付け前の注意

- ・必ずエンジンスターターを取付けてから本製品の取付けを行なってください。
- ・取付けには工具が必要になります。(ドライバー、ニッパー、カッター、レンチなど)
- ・製品取付け時、オーディオ・ナビゲーション・時計等がリセットされる場合があります。

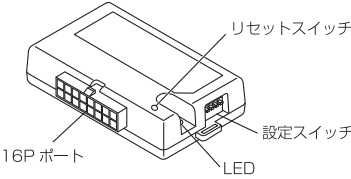
◆取付け方法

最初にエンジンスターターを取付けしてください。取付け後、エンジンスターター側の《初期設定》のみ行ってください。
※《初期設定》のやり方はエンジンスターターの取扱説明書でご確認ください。
※この時にエンジンスターターでエンジンを始動してもエンジンは始動しません。

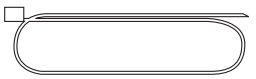
- ① 車両診断コネクタから CAN_Hi 信号線と CAN_Lo 信号線を探します。【※1】
- ② 探した車両 CAN_Hi 信号線と付属接続ハーネスの信号線 Hi (橙色線) をエレクトロタップで接続します。
- ③ 探した車両 CAN_Lo 信号線と付属接続ハーネスの信号線 Lo (薄緑色線) をエレクトロタップで接続します。
- ④ 接続ハーネス 4P コネクタをエンジンスターター 4P 取付けポートに接続します。
- ⑤ 付属接続ハーネス 16P コネクタをメインユニットに接続します。
- ⑥ 裏面《◆イモビライザーのID登録》、《◆エンジンスターターの始動確認》完了後インシュロックまたは両面テープでメインユニットを固定します。

◆梱包内容と名称 (個数)

◆メインユニット (1)



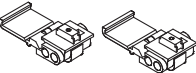
◆インシュロック大 (1)



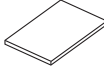
◆インシュロック小 (2)



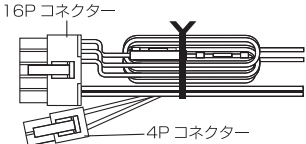
◆エレクトロタップ (1)



◆両面テープ (1)



◆接続ハーネス (1)

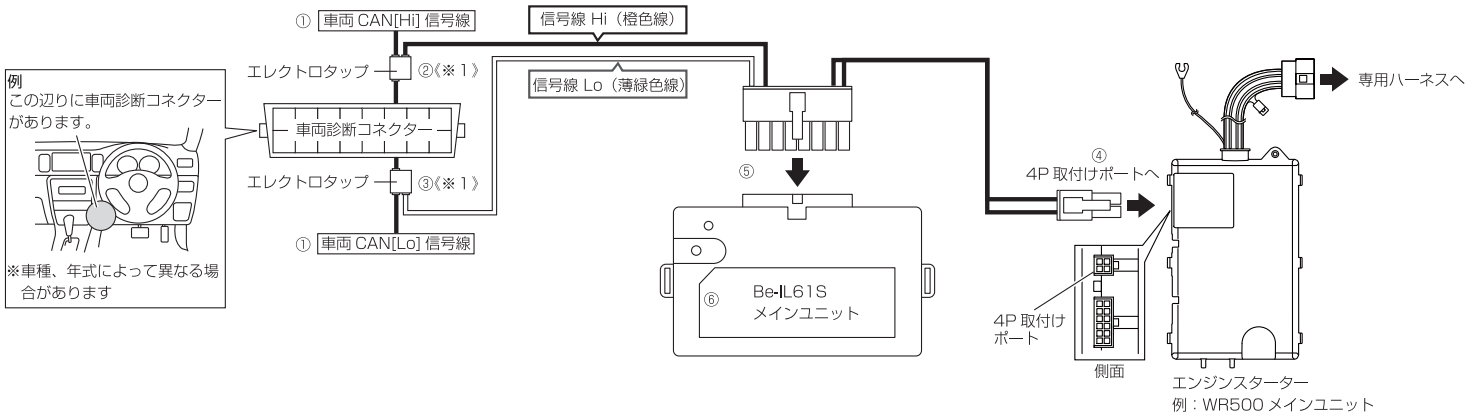


【※1】

CAN 信号線の接続箇所は弊社ホームページの車種別接続図を取り出していただき接続場所をご確認ください。

弊社ホームページ <http://www.e-comtec.co.jp/>
「車種別ハーネス適合表」にある「車種別接続図」に掲載しております。

※一部車両の接続場所、配線色を裏面「◆車両別取付け、設定情報」に掲載しています。
※車種別専用ハーネス Be-757 の接続方法も「車種別接続図」に掲載しております。



◆エレクトロタップ使用方法

1 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差込み穴からストッパーまで深く挿入します。

2 プライヤーで金属端子を完全に押込み、カバーを矢印の方向に倒しロックします。

3 絶縁テープを巻いて終了です。グレー部分全体にテープを巻いてください。

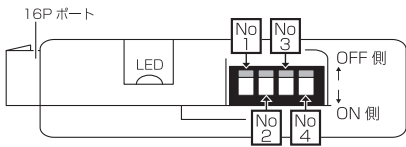
裏面に続く

◆イモビライザーの ID 登録

以下の場合に設定登録を必ず行なってください。
◎初めて取付けた時 ◎車両（車種）の変更 ◎設定スイッチを変更
◎バッテリー交換した時（車両エンジン始動スイッチでエンジン始動後、エンジンスターターでエンジン始動できない時）

1

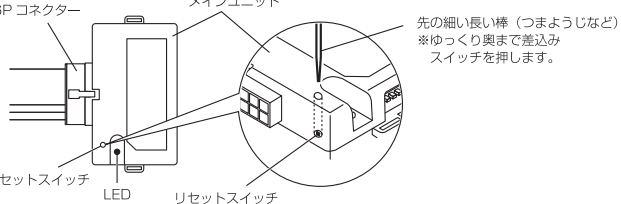
メインユニット側面の設定スイッチ（No1 ～ 4）を車両に適合するように ON/OFF 設定します。



※スイッチの設定は弊社《車種別専用ハーネス適合表》または《ホームページ》でご確認ください。一部車両の設定情報を《◆車両別取付け、設定情報》に記載しています。
※設定スイッチを変更した場合は必ず 2～3 までの作業を行ってください。
設定スイッチのみ変更しても設定は有効になりません。

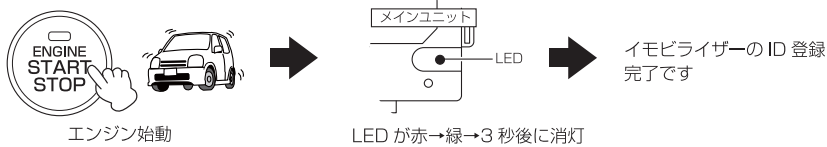
2

メインユニットのリセットスイッチを先の細い長い棒で押します。LED（赤）が点灯します。



3

エンジンを始動します。メインユニット LED が赤色から緑色に点灯し3秒後に消灯し完了です。



LED（赤）が点滅した場合

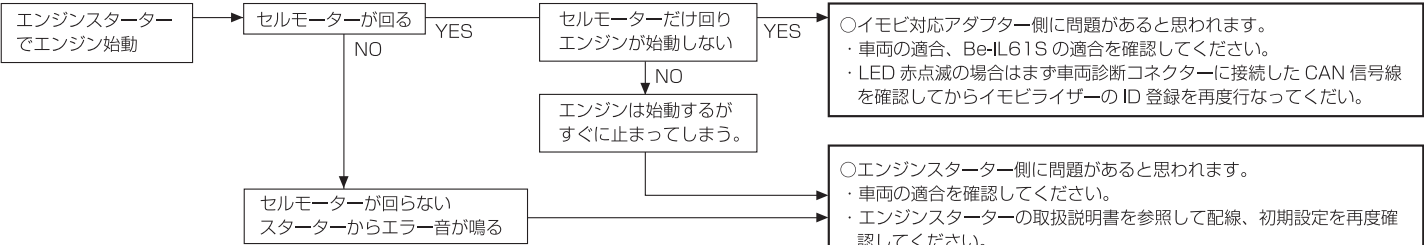
車両診断コネクタに接続した CAN 配線が違う可能性がありますので配線を再度確認してもう一度 1 からイモビライザーの ID 登録を行ってください。

◆エンジンスターターの始動確認

スマートキーを車から 5m 以上離し、エンジンスターターでエンジンを始動します。
エンジンが始動しアダプターの LED（緑）が点滅すれば（約 10 秒間で消灯）完了です。

◆エンジン始動しない場合は

エンジン始動しない場合は取付けたエンジンスターター側、イモビ対応アダプター側どちらが作動していないか確認してから配線または設定を見直してください。



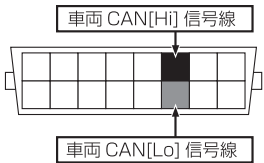
◎メインユニットの LED 表示

赤点滅：イモビライザー信号の通信ができていません。
緑点滅：イモビライザー信号をメインユニットから出しています。
赤点灯：イモビライザー ID を登録できる状態です。
緑点灯：イモビライザー ID の登録が完了しました。

◆車両別取付け、設定情報

車両別に接続場所、配線色、設定スイッチの情報です。

●車両診断コネクタ配線場所と配線色



⚠ 車両マイナーチェンジなどで変わる場合があります。 平成 23 年 8 月現在

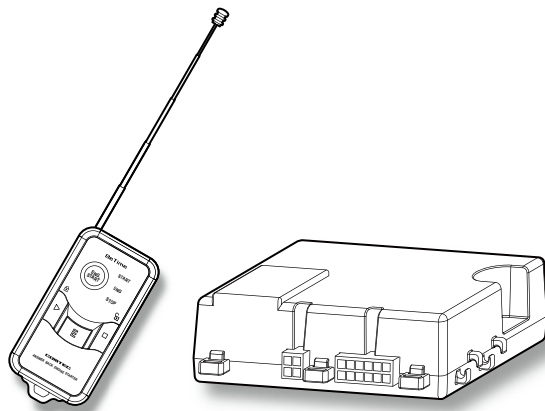
メーカー	車名	型式	年式	車両仕様	Hi 信号線色	Lo 信号線色	設定スイッチ
スズキ	MR ワゴン	MF33S	H23.1 ～	プッシュスタート車	赤 / 黒	白 / 黒	全て OFF
スズキ	アルト	HA25S	H21.12 ～	プッシュスタート車	赤 / 青	白 / 青	全て OFF
スズキ	アルトラパン	HE22S	H20.11 ～	プッシュスタート車	赤 / 青	白 / 青	全て OFF
スズキ	ソリオ	MA15S	H23.1 ～	プッシュスタート車	赤 / 青	白 / 青	全て OFF
スズキ	パレット	MK21S	H20.1 ～	プッシュスタート車	赤 / 青	白 / 青	全て OFF
スズキ	ワゴン R	MH23S	H20.9 ～	プッシュスタート車	赤 / 青	白 / 青	全て OFF
マツダ	AZ ワゴン	HJ23S	H20.9 ～	プッシュスタート車	赤 / 青	白 / 青	全て OFF
マツダ	キャロル	HB25S	H21.12 ～	プッシュスタート車	赤 / 青	白 / 青	全て OFF
ニッサン	モコ	MG33S	H23.2 ～	プッシュスタート車	赤 / 黒	白 / 黒	全て OFF
ニッサン	ルークス	ML21S	H21.12 ～	プッシュスタート車	赤 / 青	白 / 青	全て OFF
ミツビシ	デリカ D:2	MB15S	H23.3 ～	プッシュスタート車	赤 / 青	白 / 青	全て OFF

※最新の適合車種は弊社《車種別専用ハーネス適合表》取付け場所などは弊社《ホームページ》でご確認ください

双方向リモコンエンジンスターター&ターボタイマー WR500

取扱説明書／保証書
Be Time

この度はリモコンエンジンスターターをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。また読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。



⚠ 注意

初期設定および動作確認を行なわないと本製品で**エンジンは始動しません**。
取付けた時や車両バッテリーを交換・取外した時は必ず、初期設定および動作確認（⇒ P15～18）を行なってください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
📖 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
OP	別途オプションが必要なことを表します。
✳	リモコンの LED ランプの点灯を表します。
✳✳	リモコンの LED ランプの点滅を表します。

目次

目次	2	機能設定	45
ご使用上の注意	3	各種設定を変更する	45
各部の名称	5	ターボタイマーの設定について	53
メインユニット	5	セル時間の設定について	54
梱包内容	5	アンサーバック音を切替える	55
リモコン	6	付録	56
ご使用の前に	7	リモコンのIDコードを	
電池交換のしかた	7	再登録する	56
電波特性（電波飛距離について）	8	リモコンのIDコードを	
スリープ機能について	9	追加登録する	58
取付け	10	通信周波数切替方法について	60
取付け上の注意	10	オプションについて	64
車種別専用ハーネスの接続	12	故障かな？と思ったら	65
初期設定および動作確認	15	アフターサービスについて	68
初期設定および動作確認対処方法	19	製品仕様	69
動作不良エラー確認表	20	保証規定	70
12P コネクターの接続	22	WR500 保証書	裏面
フットブレーキ配線	24		
L 端子配線	25		
メインユニットの固定方法	28		
オプションの取付け	30		
ドアロック／アンロック配線	30		
カーテシ配線による安全機能	35		
弊社製カーセキュリティ連動に ついて	37		
イモビ対応アダプターの取付け	39		
Pポジション配線について	39		
リモコンの使用法	40		
エンジンを始動させる	40		
エンジンを停止させる	42		
ドアロック／アンロックの 操作方法	43		
オートロック機能について	44		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて保護してください。各種ハーネスと車両金属部が接触してショートし、メインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。また絶縁テープを巻いた各種ハーネスをダッシュボード内（コラムカバー内等）へ収納する際、狭いスペースのため、各種ハーネスと車両金属部が接触してショートしないようにしっかりと固定し十分に気をつけて取付けを行なってください。車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良または車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については弊社では一切責任を負いません。
- 排気ガス中毒の危険性があるため、換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
- ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性があるため、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- 暴走事故を防止するため、キーを OFF にする時は AT シフトレバーを  (パーキング) に入れ、パーキングブレーキを確実にかけから行ってください。特に、日産 AT 車で Be-2500(キーロックリレーアダプター)を装着した車は、 (パーキング) 以外でもキーを抜くことができるため、必ず操作方法を守ってください。
- アイドリングの直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行ってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。
- マニュアルミッション車には本製品を取付けしないでください。事故になる危険性があります。
- 一部の車両で本製品をつけることによりエンジンを停止する時にシフトレバーが  (パーキング)、 (ニュートラル) 位置以外でキーが OFF まで回りキーが抜けてしまい、車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション Be-963(カーテシ線・P ポジション線兼用) または Be-973 (シフト検出アダプター) 等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーが  (パーキング) の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。
- 車種別専用ハーネスから他の電装品の電源や ACC 電源を取らないでください。本体の故障および動作不良の原因となります。
- バッテリーの取外し、取付けする際、バッテリー固定金具やバッテリー端子取付け用ナットは工具を使ってしっかりと締め付けて固定してください。不適切な取付けを行うと車両火災の原因になります。

ご使用上の注意

⚠ 注意

- 本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
- リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
- ターボタイマー（スターター含む）や他社製盗難警報機との併用取付けはできません。
- 本機作動中は、車の仕様によりキーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックが作動しないことがあります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- 本製品作動中、オートポジションステアリングおよびドライビングポジショニングシステムが作動しないことがあります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- スターターやターボタイマーを使用する時は、車のオートライト機能を OFF にして使用してください。
- 公道でエンジンをかけたまま車両を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。（公道とは、公共施設・スーパー・月極等の駐車場や河川敷・神社の境内等、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます）
- 一部車両にてエンジンスターター作動中、エアコンなどの電装品が使用できない場合がありますが、故障ではありません。
- 本製品は防水加工されていません。雨、雪、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。リモコン内部に水分が浸入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
※急激な温度変化による結露や汗をかいた手で触ったり、ポケット等に入れた状態で雨や汗による蒸れ等によって内部に水分が浸透する恐れがありますのでご注意ください。

※ 本機取付け後にエンジン始動および停止した時、メインユニットからブザー音が鳴ることがありますが、異常ではありません。

⚠ 電波法について

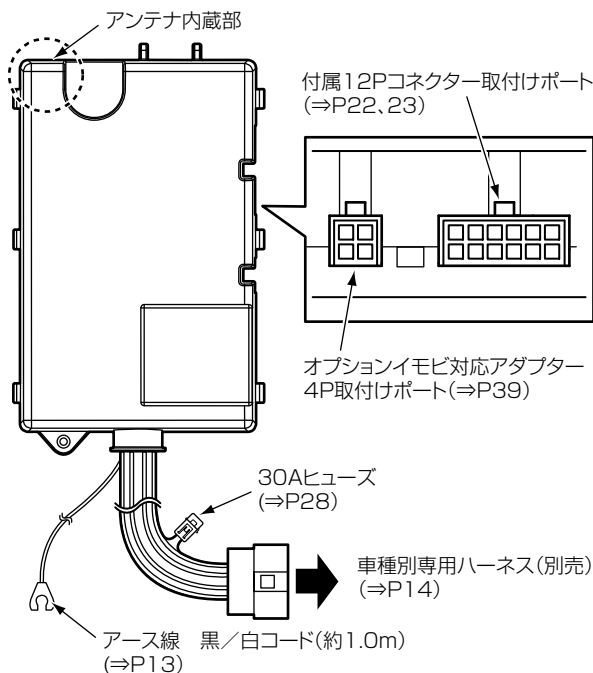
- リモコンケース裏面の技術基準適合証明ラベルは剥がさないでください。このラベルを剥がすと技術基準適合機として認められなくなるので、必ずラベルが貼られた状態で使用してください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用すると電波法により罰せられることがあります。

各部の名称

メインユニット

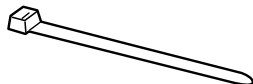
■メインユニット(1個)

メインユニット固定方法はP28、29参照

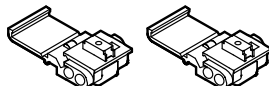


梱包内容

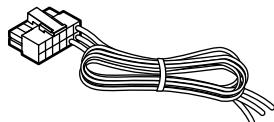
インシュロック (1本)



エレクトロタップ (2個)

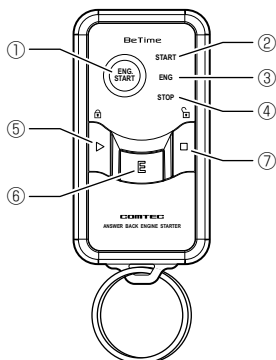


12P コネクター (1 個)



各部の名称

リモコン



No.	名 称
①	アンサーバックランプ (青)
②	START ランプ (白)
③	ENG ランプ (白)
④	STOP ランプ (白)
⑤	スタートスイッチ
⑥	エンジンスイッチ
⑦	ストップスイッチ

※ 電池の入れ方 (⇒ P7)

作動内容	操作方法
エンジンスタート	E → ►
エンジンストップ	E → ■
車両ドアロック&弊社別売セキュリティシステム スタート (オプション接続時)	► → ►
車両ドアアンロック&弊社別売セキュリティシステム ストップ (オプション接続時)	■ → ■
車両ドアロックのみ (オプション接続時)	► <u>2 秒長押し</u>
車両ドアアンロックのみ (オプション接続時)	■ <u>2 秒長押し</u>
[タイプ1] スライドドアを開ける／閉める ※オプション『オートスライドドアユニット』接続時	► → E
[タイプ2] [タイプ3] スライドドアを開ける ※オプション『オートスライドドアユニット』接続時	■ → E
[タイプ2] [タイプ3] スライドドアを閉める ※オプション『オートスライドドアユニット』接続時	► → E
アンサーバック音切替え	► + ■ <u>同時 5 秒長押し</u>

ご使用の前に

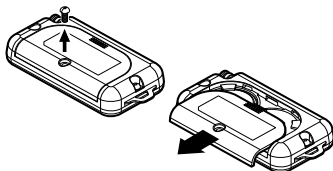
電池交換のしかた

電池は下図の手順にしたがって、＋／－の向きを間違えないように交換してください。

※ 電池カバーを取付けていないとリモコンの電源は入りません。ご注意ください。

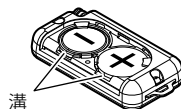
- 1) プラスドライバーでネジを外し、電池カバーを矢印の方向へスライドさせ取外します。

※電池カバーを外す時に、ケースやカバーに傷をつけないよう十分注意してください。

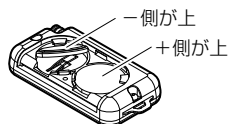


- 2) 右図の溝に細い棒などを入れ、古い電池を取出します。

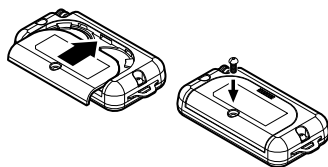
※無理に電池を外すとツメが折れるので注意してください。



- 3) 新しい電池（CR2025 × 2 個）を、電池の極性＋、－に注意して挿入します。



- 4) 最後に電池カバーを矢印の方向からスライドさせ、ネジを取り付けます。



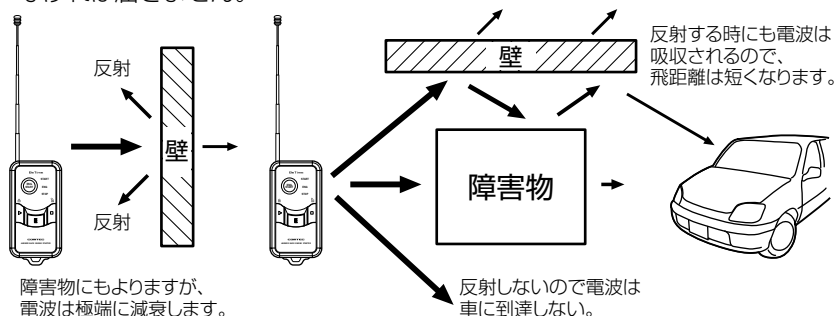
⚠ 注意

- ・ 指定電池（CR2025）以外は使用しないでください。
- ・ 電池寿命の目安は、新品の電池で 1 日 2 回の操作で約半年です。
※使用する条件によって異なります。
- ・ 工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約半年間を下回る場合があります。

ご使用の前に

電波特性（電波飛距離について）

- 鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。（電波が障害物によって反射する）
- 電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



- リモコンを操作する時は、電波送受信の安定性を確保するために、下記のように操作してください。



- アンテナを伸ばさずに操作すると電波の受信距離が短くなります。



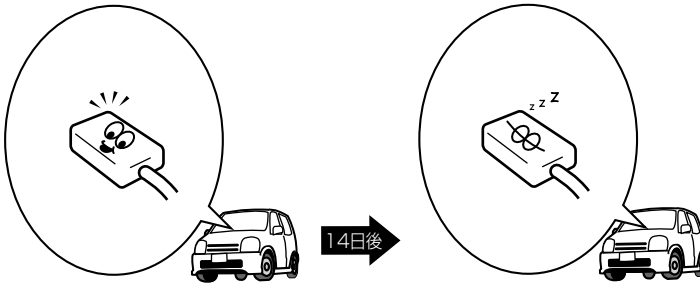
- ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。



- リモコンは垂直に立てて操作してください。

スリープ機能について

- ・車を使用しない状態が 14 日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。
- ・スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除する時は、1 度キーでエンジンを始動させてください。



- ・本機を長期間使用しない時は、リモコンの電池を抜くことをおすすめします。

バッテリーについて

車のバッテリーの性能が低下している時は、キーで始動する場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このような時はバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

👉 アドバイス

- ・寒冷地では L 端子配線の接続をおすすめします。
- ・車のバッテリー交換を行なった場合は再度初期設定および動作確認 (⇒ P15 ~ 18) を必ず行なってください。
- ・車のバッテリー性能・電圧が低下している時は、キーではエンジンが始動できるがリモコンでのエンジン始動ができない場合があります。気候やバッテリー状態によって異なりますので十分にご注意ください。本体の不良ではありません。

取付け

取付け上の注意



注意

取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店またはカーディーラー等にご依頼ください。お客様ご自身で取付けられた場合は、保証が受けられません。

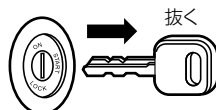
取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行なってください。

取付けに必要な工具等

- ・サーキットテスター ・ドライバー (+) ・ニッパー ・絶縁テープ
 - ・プライヤー ・スパナまたはボックスレンチ ・保護テープ
- ※ その他の工具が必要になる場合があります。

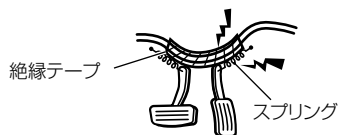
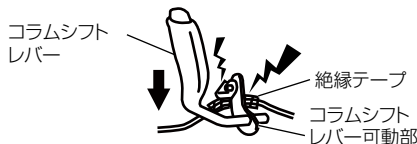
シフトレバーとパーキングブレーキ (サイドブレーキ) について

シフトレバーを  (パーキング) にして、パーキングブレーキ (サイドブレーキ) を確実にかけ、キーを抜きます。



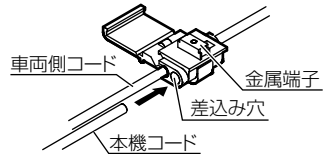
配線について

ダッシュボード内 (コラムカバー内等) へ収納する際、各種ハーネスが車両金属部 (コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等) と接触してショートしないように注意してください。メインユニットのヒューズ切れ、メインユニット故障、車両ヒューズ切れなど本体の動作不良となります。必ず市販の絶縁テープを貼って保護し、取付けを行なってください。

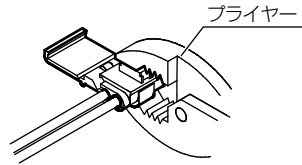


エレクトロタップ使用方法について

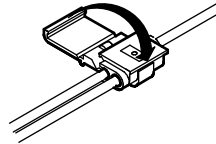
- 1) 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差込み穴からストッパーまで深く挿入します。



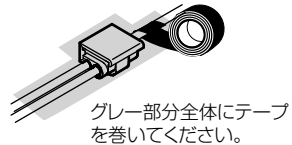
- 2) プライヤーで金属端子を完全に押込みます。



- 3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。



- 4) 絶縁テープを巻いて作業終了です。



取付け

車種別専用ハーネスの接続

取付け手順における注意点

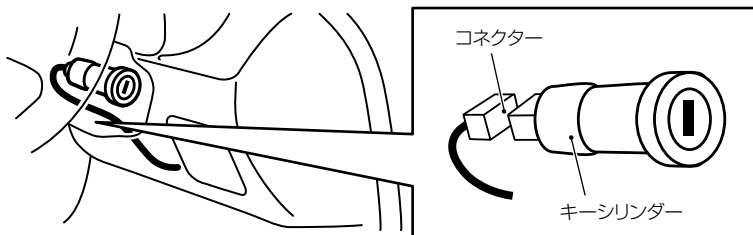
取付け手順 (⇒ P12 ~ 14) 通りに接続を行わないとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合があります、初期設定および動作確認を行うことができません。

必ず取付け手順に従って取付けを行ってください。

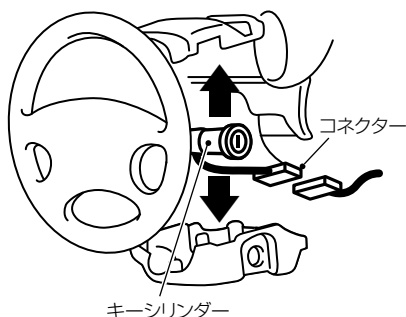
1) 車のキーシリンダーから出ているコネクターを探す

※コネクターの場所は車種によって異なります。(ほとんどの車が下記のいずれかにあてはまります) 車種によってはコネクターが2ヶ所存在する場合もあります。

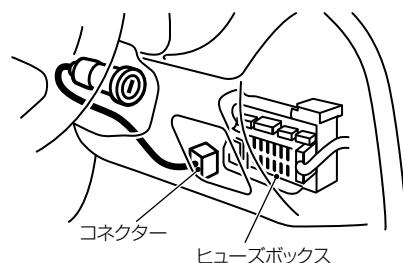
① キーシリンダー直付けタイプ



② キーシリンダーから 10cm ~ 20cm の場所にあるタイプ



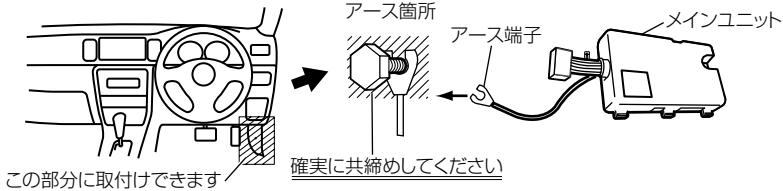
③ ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ



2) アース端子の取付け

アース端子（黒／白コード）を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。

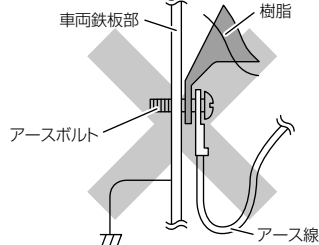
（取付例）



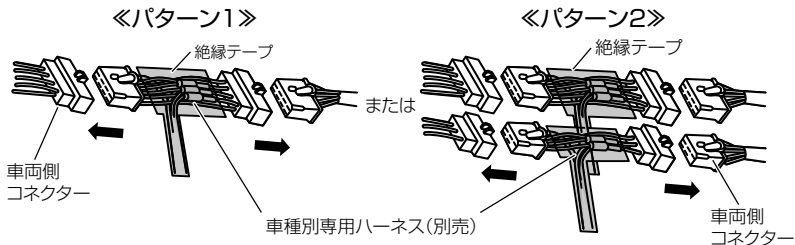
⚠ 注意

- ・アースボルトとアース線の間に樹脂などを挟んでいる（右図）と初期設定および動作確認が行えないため、車両鉄板部に確実に共締めしてください。
- ・取付け手順通り（⇒P12～14）に接続を行わないとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファンラシド」が鳴らない場合があります、初期設定および動作確認を行なうことができません。必ず取付け手順に従って取付けを行なってください。

NG 取付例



3) 車両側のコネクタを外し、外したコネクタ間を車種別専用ハーネス（別売）で接続してください。その際、市販の絶縁テープを巻いて配線を保護してください。



⚠ 注意

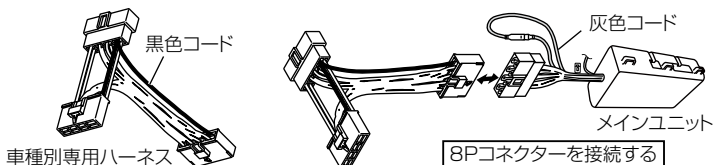
- ・車種別専用ハーネス（別売）を接続しただけでは、エンジンは始動しません。もしエンジン始動した場合は、間違ったコネクタに接続していますので、別のコネクタを探してください。
- ・専用ハーネスによっては車両側のコネクタを2ヶ所外し、接続する必要があります。（パターン2参照）

取付け

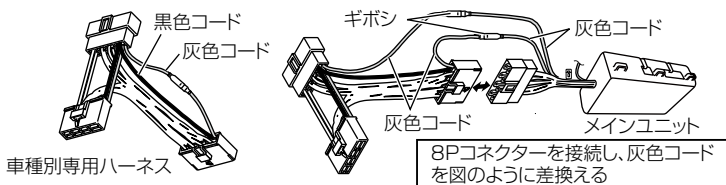
- 4) 2) のアース端子の取付けを行ってから車種別専用ハーネスの 8P コネクターとメインユニットの 8P コネクターを接続します。

下記の①、②を参照し、正しく配線してください。

- ①車種別専用ハーネスに黒色コードが 1 本の場合

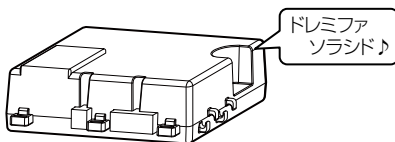


- ②車種別専用ハーネスに黒色コードと灰色コードが各 1 本の場合



※上記の車種別専用ハーネスを使用する場合、灰色コード差換え作業を行わないと車両自体の動作不良（エアコン、オートクルーズ等の動作不良、ABS ランプ点灯など）を起こす恐れがあります。

- 5) 4) の 8P コネクター接続が終わると、メインユニットから接続確認のメロディ「ドレミファソラシド」が鳴ります。



アドバイス

メインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合

車種別専用ハーネスの適合または、専用ハーネスの取付け位置を確認の上、アース端子の取付位置の変更と、メインユニットの 8P コネクターを外して約 30 秒程待ってから、再度コネクターの接続を行ってください。

初期設定および動作確認

〈重要〉初期設定を行わないと本機は作動しません。

事前確認事項

- ・取付けおよび接続(⇒P12～14)後、接続確認メロディ「ドレミファソラシド」を確認してから、必ず下記の初期設定および動作確認を行なってください。
 - ・初期設定および動作確認前に安全のため、必ずパーキングブレーキをかけてください。
 - ・下記の手順に従って初期設定および動作確認を行なってください。
- ※ お客様の車両バッテリーの交換や、本機の付替えなどで、車両バッテリーや車種別専用ハーネスを取外した場合にも下記の初期設定、動作確認およびIDコードの再登録(⇒P56)を行なってください。

初期設定および動作確認手順

以下の操作を行わないとリモコンでエンジン始動できません。

- 1) キーを ACC (アクセサリ) の位置まで回して止めてください。



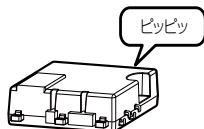
Q: この時、ラジオ等アクセサリ電源が ON になりますか？



- 2) キーを ON の位置まで回して止めてください。



約10秒以内



Q: この時、メーターパネル等の電源が ON になり、メインユニットのブザー音が約 10 秒以内に「ピッピッ」と鳴りますか？



⚠ 注意

セルを回さずにキーを ON で 5 秒以上停止した場合に、メインユニットから毎回ブザー音が「ピッピッ」と鳴りますが、本体の仕様のため異常ではありません。

取付け

- 3) 2) の操作後、キーを OFF にせずに 10 秒以内 にセルを通常より長めに回し、エンジンを始動してください。



Q: この時、エンジンが始動し、約 5 秒後 にメインユニットのブザー音が「ピーピーピー」と鳴りますか？

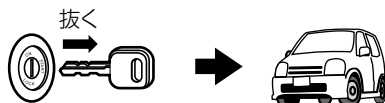
なお、L 端子検出線を接続している場合は、メインユニットのブザー音が「ピーピーピー」に変わります。(⇒ P25 ～ 27)



⚠ 注意

セルを通常より長めに回し、エンジンを始動することにより、車両情報を認識します。
上記操作を行い、メインユニットのブザー音が鳴らないとリモコンでエンジンが始動できません。
ブザー音が鳴らない場合は、もう一度 2) から動作確認操作を行なってください。

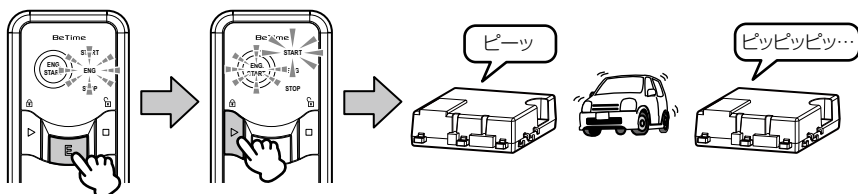
- 4) キーを OFF の位置まで回して、抜いてください。



Q: この時、エンジンが停止しますか？



- 5) リモコンのエンジンスイッチ(E)を押した後、リモコンのENGランプ(白)が点滅している間にスタートスイッチ(▶)を押してください。



Q: この時、メインユニットのブザー音が「ピーッ」と1秒間鳴り、エンジンが始動しますか？

また、アイドリング開始後、メインユニットのブザー音が「ピッピッピッ…」と鳴りますか？

フットブレーキ配線を
していない場合



フットブレーキ配線を
している場合



※ 車両によって取付け時にはP/N 検出エラー (⇒ P20、No.2) が出なくても、使用中からエラーが出る場合があります。取付け時にフットブレーキ配線の接続をお勧めします。

📞 アドバイス

- ・アイドリング中でのメインユニットからのブザー音「ピッピッピッ…」を消音する事はできません。
- ・エンジン始動時、メインユニットのブザー音が「ピーピー」と鳴る場合は、ディスプレイモードに設定されていますので、設定を無効にしてください。(⇒ P52)
- ・エンジン始動してもエアコンが効かない場合やオートクルーズ等のランプが点灯する場合は灰色の配線の差替えを行なってください。(⇒ P14)

取付け

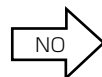
- 6) A/Tシフトストップ機能の確認をしてください。エンジン始動中にシフトレバーを **P** (パーキング) または **N** (ニュートラル) 以外の位置にしてください。(一部車両でシフトレバーがロックされて動かない場合があります)



Q: シフトレバーが動く場合、エンジンが停止しますか？

また、メインユニットのブザー音が「ブーブーブーブー、ブーブーブーブー」(P/N 検出エラー音) と鳴りますか？

- ・シフトレバーが **P/N** 以外に動かない
- ・シフトレバーが **P/N** 以外に動いた場合、エンジンが停止し、ブザー音が鳴る
- ・エンジンが停止しない
- ・ブザー音が鳴らない

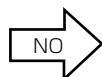


7)へ

すべての動作は正常です。

- 7) 6) にて **D** へ進んだ場合フットブレーキ検出線 (黄) を接続後、フットブレーキを踏んでください。(⇒ P24)

Q: この時、エンジンが停止し、メインユニットのブザー音が「ブー、ブー」(フットブレーキ検出エラー音) と鳴りますか？



すべての動作は正常です。

※再度エラー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチ (E) を押し、リモコンの ENG ランプ (白) が点滅している間に、ストップスイッチ (■) を押してください。

初期設定および動作確認対処方法

下記の [A] ～ [E] の各対処方法を行った場合は、再度初期設定および動作確認を 1) から行なってください。

[A]	1. 車種別専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？ (⇒ P12) 2. 車種別専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？ (⇒ P12 ～ 14) 3. お車に適した車種別専用ハーネスを使用していますか？ (車種別専用ハーネス表で確認するか 弊社ホームページ http://www.e-comtec.co.jp 車種別適合表にて確認してください) 4. アースが不安定な場所への取付けやアース端子 (黒／白コード) をボディアースへ取付け固定していますか？ →アース端子をしっかりと固定してください。(⇒ P13) 5. エンジンを始動する際、セルを回す時間が短くありませんか？ →セルを通常より長めに回し、エンジンを始動することで車両情報を認識します。(⇒ P16)
[B]	ターボタイマーが作動していませんか？ (⇒ P53) →ターボタイマーの設定を「設定 OFF」にしてください。
[C]	1. 動作不良エラープザー音が鳴る時 →動作不良エラープザー音を確認し、エラーを解除してください。(⇒ P20 ～ 21) 2. 動作不良エラープザー音が鳴らない時 →セルが短くエンジンが始動しない場合は、セルストップ時間の調整をしてください。(⇒ P47 ～ 49、54) →セル自体回らない場合、スマートキー装着車、インテリジェントキー装着車、イモビライザー装着車の可能性があります。 別売のオプションで対応してください。(⇒ P39) →リモコン電池の電圧を確認後、ID コードの再登録を行ってください。(⇒ P56、57)
[D]	フットブレーキ検出線を接続し、フットブレーキを一度踏んでください。 (⇒ P24)
[E]	フットブレーキ検出線の接続を確認してください。(⇒ P24)

取付け

動作不良エラー確認表

メインユニットからブザー音を鳴らすことで、製品の動作状態やエラーを確認することができます。

No.	ブザー音	名 称	内容／解除方法
1	ブー、ブー ○ ○	フットブレーキ 検出エラー	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるか、キーを ON の位置まで回してください。 対策 フットブレーキ検出線の接続を確認してください。(⇒ P24)
2	ブーブーブー、 ○○○○ ブーブーブー ○○○○	P/N 検出 エラー	本機作動中にシフトレバーをP (パーキング) またはN (ニュートラル) 以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるか、キーを ON の位置まで回してください。 リモコンでスタート後エンジンがかからない場合 対策 ①フットブレーキ検出線の接続をし、フットブレーキを一度踏んでください。(⇒ P24) ②イモビライザー装着車の場合、イモビ対応アダプターの取付け・接続方法の確認をしてください (イモビ対応アダプターの取扱説明書参照) ※ 上記対策後、再度リモコンでスタートさせるか、キーを ON の位置まで回してください。
3	ブッブッブッ、 ○ ○ ○ ブッブッブッ ○ ○ ○	P ポジション 検出エラー	P ポジション配線した場合、本機作動中にシフトレバーをP (パーキング) 以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるか、キーを ON の位置まで回してください。 対策 P ポジション線の接続を確認してください。(⇒ P39) (オプション Be-963 取扱説明書参照)
4	ブッブッブッブッ、 ○ ○ ○ ○ ○ ブッブッブッブッ ○ ○ ○ ○ ○	初期設定 車両情報未検出 エラー	取付けを行った後、取扱説明書の初期設定および動作確認をもとに確実にキー操作で設定後、エンジン始動させて車両情報の認識を行ってください。(⇒ P15 ~ 18) 初期設定および動作確認を行わないとリモコンでエンジン始動できません。
5	ブッ、ブッ ○ ○	ACC 検出 エラー	本機作動中にキーを ON まで回さずに ACC で止めてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーを ON の位置まで回してください。
6	ブーブッ、 ○○○ ブーブッ ○○○	L 端子配線 違いエラー	L 端子以外の線に間違っって配線したときの状態。解除するには正しく配線後、再度リモコンでスタートさせるか、キーを ON の位置まで回してください。 対策 L 端子検出線の確認をしてください。(⇒ P25 ~ 27)

※ ○は約 0.2 秒を示します。○○は約 1 秒を示します。○○○は約 2 秒を示します。

※ 再度エラーブザー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチ (E) を押した後、リモコンの ENG ランプ (白) が点滅している間にストップスイッチ (■) を押してください。

再度エラーブザー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチ (E) を押し、リモコンの ENG ランプ (白) が点滅している間に、ストップスイッチ (■) を押してください。

No.	ブザー音	名 称	内 容 / 解除方法
7	ブープブッ、 ○ ○ ○ ブープブッ ○ ○ ○	リモコン ID 未登録	リモコンの ID コードを再登録または追加登録を行ってください。
8	ブッブブブー、 ○ ○ ○ ブッブブブー ○ ○ ○	エンジン始動 検出エラー	リモコンでエンジンをスタート後、連続して 2 回セルを回すか、または連続して 2 回エンジンを始動させた状態 (1 回でエンジンがかからない状態)。解除するには、キーを ON の位置まで回してください。 対策 ・ エンジンが始動するまでセルが回らない場合 セルストップ方式がオートの設定の場合はセル延長時間を現状の設定より延長、マニュアルの場合はセルストップ時間を現状の設定より長めに設定してください。(⇒ P47 ~ 49、54) ・ イモビライザー装着車の場合 取付車両に適合する、イモビ対応アダプターを取付けてください。(⇒ P39) ・ エンジン始動検出が自動検出できない場合 L 端子検出線を接続してください。(⇒ P25 ~ 27) ・ インテリジェントキー装着車の場合 インテリジェントキー対応ハーネスの適合車種であればインテリジェントキー対応ハーネスを取付けてください。
9	ブープブブッ、 ○ ○ ○ ブープブブッ ○ ○ ○	カーテシ検出 エラー	カーテシ配線した場合、リモコンでエンジン始動中ドアを開いてエンジンが停止したときの状態。解除するには、ドアを閉めて再度リモコンでエンジン始動するか、キーを ON の位置まで回してください。 対策 カーテシ線の接続を確認してください。(⇒ P35、36) △ 注意 車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。
10	ブッブブー、 ○ ○ ○ ブッブブー ○ ○ ○	バッテリー電圧 低下エンジン 始動エラー	車両バッテリー電圧が低下している可能性があるため、エンジン始動ができない状態。 対策 バッテリーの電圧を確認してください。(⇒ P9)

※ ○ は約 0.2 秒を示します。○ は約 1 秒を示します。

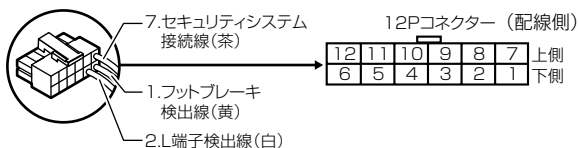
リモコンからのエラー音

同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、電波が干渉してしまい、送信を行えません。その場合、リモコンから「ブッブブッ」と音が鳴ります。その際は、場所を移動してリモコン操作を行ってください。

取付け

12P コネクターの接続

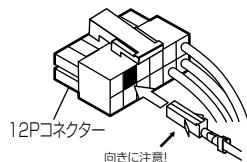
12P コネクターにはオプションを接続することができます。(⇒ P23)



取付け方

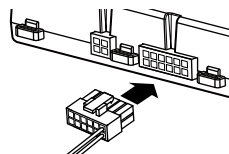
- 1) 付属 12P コネクターに配線する端子をしっかりと差込みます。

※ 一度差込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



- 2) 付属 12P コネクターをメインユニットにしっかりと差込んでください。

※ オプション等を後から取付けする場合は、一度コネクターを抜いてから接続してください。



12P コネクター接続内容

NO.	名称	機能説明	参照ページ
1	フットブレーキ	フットブレーキ配線をする場合にフットブレーキ検出線（黄）を使用します。	P24
2	L 端子	L 端子配線をする場合に L 端子検出線（白）を使用します。	P25 ~ 27
3	オプション 1 (イモビ/セキュリティ アラーム対応アダプター)	弊社オプションのイモビ解除アダプター/セキュリティアラーム対応アダプターを接続するために使用します。	—
4	オプション 2 (オート スライドドアユニット)	弊社オプション Be-975 (オートスライドドアユニット) を接続するために使用します。	—
5	カーテシ (オプション)	弊社オプション Be-970 (ドアロック配線キット) または、Be-963 (カーテシ線) を接続するために使用します。 リモコンでエンジン始動中、ドアを開けるとエンジンを約 15 秒後停止または、即強制停止できます。ターボタイマー作動中はドアを開けてもエンジンは停止しません。	P35、36
6	未使用	—	—
7	セキュリティ システム接続	本製品のリモコンで弊社製カーセキュリティのスタート/ストップ操作をするときにセキュリティシステム接続線（茶）を使用します。	P37、38
8	ドアアンロック (オプション)	弊社オプション Be-970 (ドアロック配線キット) ドアアンロック線を接続するために使用します。	P30 ~ 34
9	ドアポジション (オプション)	弊社オプション Be-970 (ドアロック配線キット) ドアポジション線を接続するために使用します。	
10	ドアロック (オプション)	弊社オプション Be-970 (ドアロック配線キット) ドアロック線を接続するために使用します。	
11	ハザード (オプション)	弊社オプション Be-968 (アンサーフラッシュリレー) を接続するために使用します。 ドアロック・ドアアンロックと連動しハザードが点滅します。	—
12	P ポジション (オプション)	弊社オプション Be-963 (P ポジション線) を接続するために使用します。	P39

取付け

フットブレーキ配線

一部の車種は、シフトポジション検出が正常にできない場合があります。その場合は、フットブレーキ配線を行い、認識させるためフットブレーキを一度踏んでください。

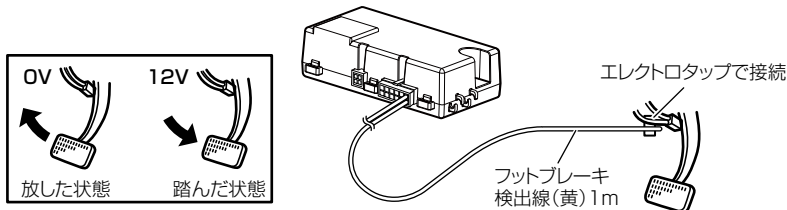
※ シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。

⚠ 注意

- ・日産の一部車両（Y33系のシーマ、セドリック、グロリアは、パードビューナビゲーション装着車に限る）はパーキングブレーキへ配線してください。
- ・スターター作動時またはターボタイマー作動時、シフトレバーをP/N以外の位置へ動かした時にエンジンが止まらない車種。
- ・シフトレバーがP（パーキング）の位置で、リモコンスタート時にメインユニットからブザー音が「ブーブーブー、ブーブーブー」と鳴った場合。（P/N検出エラー）
- ・エアバッグ等の警告ランプが点灯する車種。

- 1) メインユニットのフットブレーキ検出線（黄）を車両フットブレーキ配線へ接続してください。

フットブレーキを放した状態で 0V、踏んだ状態で 12V の配線にフットブレーキ検出線（黄）を付属のエレクトロタップで接続します。

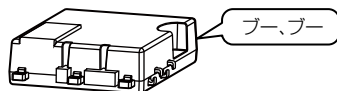


※エレクトロタップの使用方法は(⇒P11)

- 2) 接続後必ずフットブレーキを一度踏んでください。フットブレーキ検出線からのブレーキ認識が必要となります。

（この時メインユニットからブザー音は鳴りません）

- 3) リモコンでエンジン始動中、フットブレーキを踏んでエンジンが止まる事を確認してください。（動作不良エラー確認表（⇒P20、21）のNo.1のブザー音「ブー、ブー」が鳴っている事を確認してください）



※リモコンでエンジン始動中、フットブレーキを踏んでもエンジンが止まらない場合、再度1)からの接続を確認してください。

L 端子配線

本機には、2 種類（自動検出・L 端子検出）のエンジン始動検出方法があります。ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行なえますが、一部車種でできない場合があります。

セル時間の設定（⇒ P54）をしているのにも関わらず、下記のような症状になる場合は、L 端子配線を行なってください。

- ・ エンジンがかかったり止まったりをくり返す。
- ・ 寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。

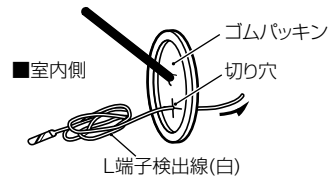
※ ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方は L 端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

以下の手順で L 端子配線を行なってください。

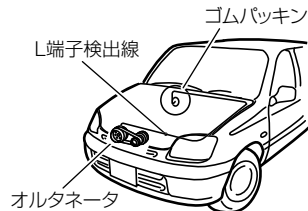
⚠ 注意

シフトレバーを **P**（パーキング）にしてキーを抜いてから作業を行なってください。

- 1) エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け L 端子検出線（白）を図の様に室内側からいれてください。



- 2) 車両の L 端子線（オルタネータの所にあります）まで、本機 L 端子検出線（白）を配線してください。



👉 アドバイス

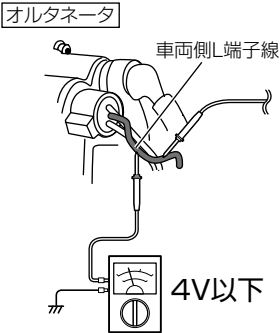
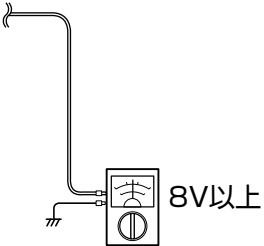
車両によっては車内の配線へ L 端子検出線を接続することができます。詳しくは弊社ホームページ車種別適合表内の車種別接続図をご確認ください。

※一部情報の無い車両もあります。

取付け

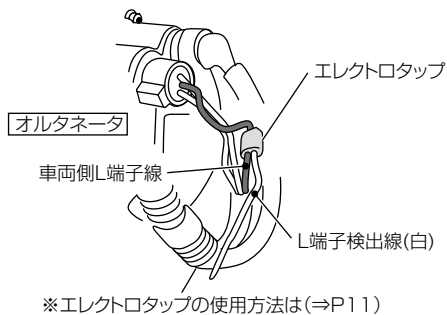
3) 車両のオルタネータにある L 端子線を探してください。

車両側 L 端子の見分け方

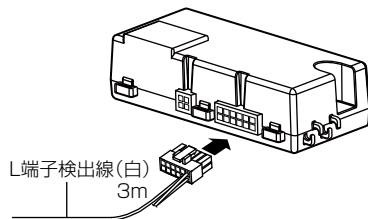
キーの位置	ON (セルまで回さないで ON で止める)	ON (セルを回してエンジンをかける)
エンジンの状態	エンジン停止時 	エンジン始動時 
電圧 ※ 電圧の確認はサーキットテスターで確認してください。	 オルタネータ 車両側 L 端子線 4V 以下	 8V 以上

※エンジン始動時 8V 以下の場合は Be-966 (L 端子検出アダプター) が必要です。

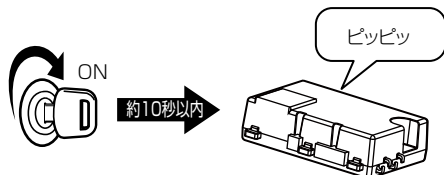
4) 車両側の L 端子線と L 端子検出線 (白) を付属のエレクトロタップで接続してください。



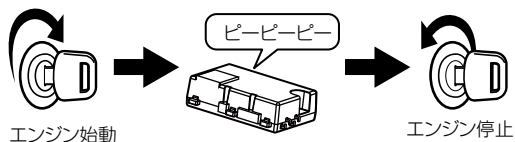
- 5) メインユニットに 12P コネクターを差込んでください。



- 6) キーを ON の位置まで回して止めてください。
約 10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



- 7) 6) の操作後、キーを OFF にせずに 10 秒以内にエンジンを始動してください。エンジンが始動している状態で 約 5 秒後にメインユニットからブザー音が「ピーピーピー」と鳴ります。



※ 7) メインユニットからブザー音が鳴らない場合は、再度 1) から接続を確認してください。

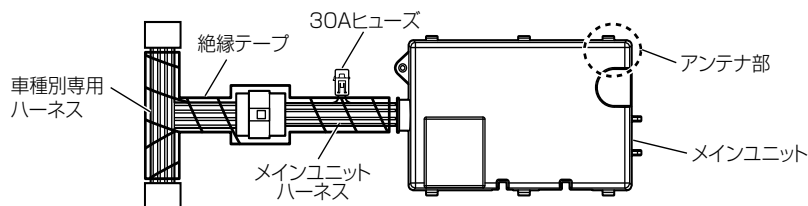
取付け

メインユニットの固定方法

全ての動作が正常と確認できたら、各種ハーネスに絶縁テープを巻いて、ハーネスの保護を必ず行なってください。

メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスの配線保護について

- ・メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて、保護をしてください。
- ・専用ハーネスがコラムシフトやステアリング可動部などと接触してショートし、メインユニットのヒューズ (30A) 切れやメインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。
- ・また、絶縁テープを巻いたハーネスをダッシュボード内（コラムカバー内等）に収納する際、振動でハーネスが擦れないよう確実に固定をし、各種ハーネスと車両金属部がショートしないよう気を付けて収めてください。



⚠ 注意

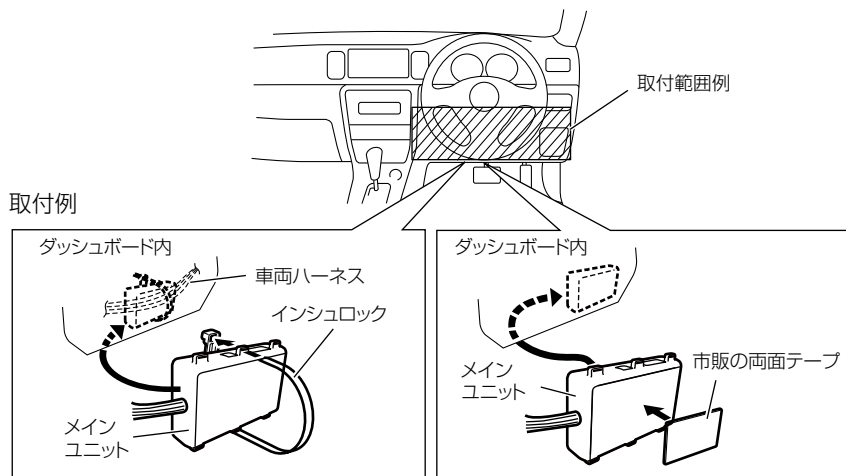
各種ハーネスと車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良または車種別専用ハーネスの加工等、車両故障に関しては弊社では一切責任を負いません。

メインユニットの取付け

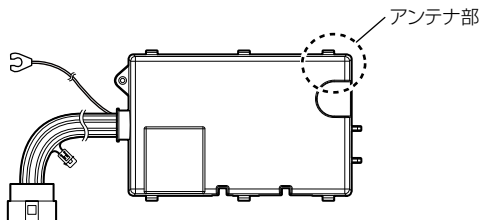
⚠ 注意

- ・メインユニットの取付固定を行う前に、初期設定および動作確認を行なってください。
(⇒ P15 ~ 18)
- ・エアコンやヒーター等の熱風または水滴を受ける場所・直射日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付けは避けてください。

運転の妨げにならない場所に、付属のインシュロックまたは市販の両面テープでしっかりと固定してください。(ダッシュボード内側等)



※ メインユニットの内蔵アンテナ部を**車両金属部分から 5cm 以上離して**固定してください。通信距離が短くなったり、通信が不安定になることがあります。



オプションの取付け

ドアロック／ドアアンロック配線 **OP**

車両へドアロック／ドアアンロック配線を行うことで、本機リモコンでドアロック／ドアアンロック作動させることができます。(操作方法はP43)

※ オプション Be-970 (ワイヤレスドアロック配線キット) が必要になります。

⚠ 注意

一部車両でエンジンスターターまたはターボタイマーのアイドリング中に、純正のキーレスエントリーが作動しないものがあります。

接続方法について

自動車メーカーや車種によってワイヤレスドアロック接続方法が異なります。また、オプション Be-970 (ワイヤレスドアロック配線キット) に加え、Be-965 (ワイヤレスドアロックアダプター) が必要になる車種がありますのでご注意ください。

A タイプ (マイナスコントロール) …… オプション Be-970 (ワイヤレスドアロック配線キット) だけで作動するタイプ

B タイプ (プラスコントロール) …… オプション Be-965 (ワイヤレスドアロックアダプター) が必要なタイプ

詳しくは、最新のビータ임車種別専用ハーネス適合表をご確認ください。

ホームページ <http://www.e-comtec.co.jp>

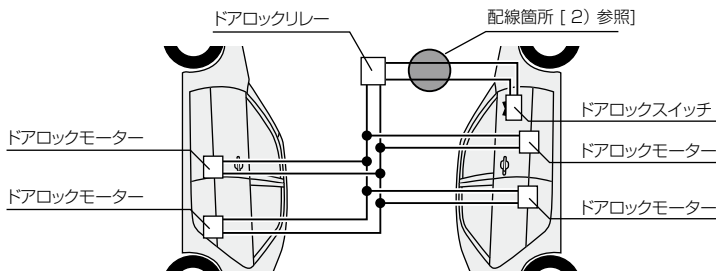
※ただし、下記に示す車両には使用できません。

- ・弊社車種別専用ハーネス適合表にてドアロック・ドアアンロック作動可能と明記のない車種。
- ・トヨタ車以外で、純正キーレスがついていない車種。
- ・一部多重通信車。
- ・集中ドアロック制御できない車種。
- ・弊社以外のセキュリティシステム装着車。(ドアロック連動タイプ)

接続方法

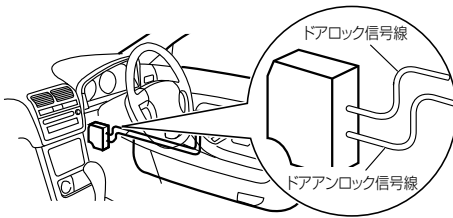
A タイプ ……オプション Be-970 だけで作動するタイプ

1) 接続概要図



2) 車両側ドアロック／ドアアンロック線を探してください。

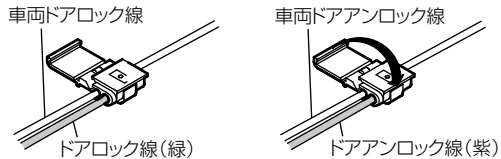
ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックまわりから探し出します。



ロック	ドアロック線 (通常 3 ~ 12V) ドアロック動作時 → 0V 動作後 → 3 ~ 12V
アンロック	ドアアンロック線 (通常 3 ~ 12V) ドアアンロック動作時 → 0V 動作後 → 3 ~ 12V

※場所および電圧は車種によって異なります。

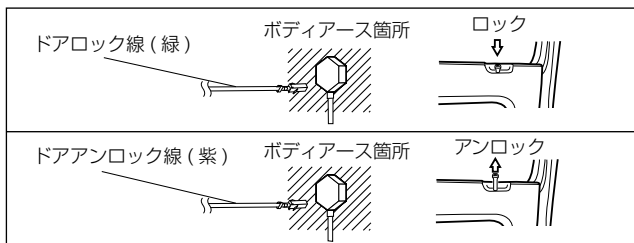
3) ドアロック／ドアアンロック線（緑・紫）を車両側ドアロック線／ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。



※エレクトロタップ使用法は (⇒ P11)

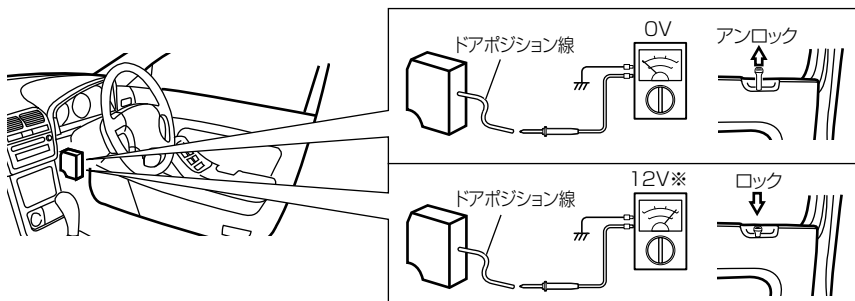
オプションの取付け

- 4) エレクトロタップで接続後、必ず Be-970 (ワイヤレスドアロック配線キット) の端子部をボディアースに接触させ、ドアロック／ドアアンロックが作動するか確認します。

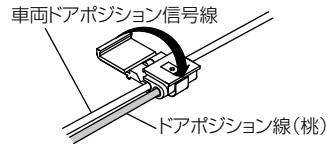


- ・ ドアアンロックが作動する場合は、6) へ進んでください。(トヨタ系またはニッサン系の一部車両)
 - ・ ドアアンロックが正常に作動しない場合、ドアポジション信号の接続が必要となりますので、5) へ進んでください。
- ドアロックノブを操作してロック時に 12V ※、アンロック時に 0V になる線を探します。

※一部の車種で、パルス信号のため、12V 出力しないものがあります。



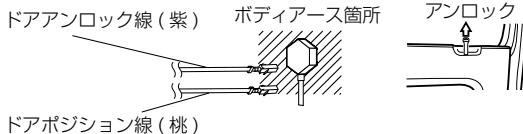
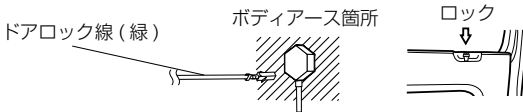
- 5) 4) で探したドアポジション信号線にドアポジション線（桃）をエレクトロタップで接続します。



※エレクトロタップ使用法は（⇒P11）

⚠ 注意

エレクトロタップで接続後、12P コネクターに端子を差込む前に Be-970（ワイヤレスドアロック配線キット）のドアロック／ドアアンロック延長線の端子部をボディアースへ接触させ、ドアロック／ドアアンロックが正常に作動するか必ず確認してください。



※ドアポジション線を接続した場合はドアアンロック確認時、ドアアンロックとドアポジション線を同時にボディアースへ接触させる必要があります。

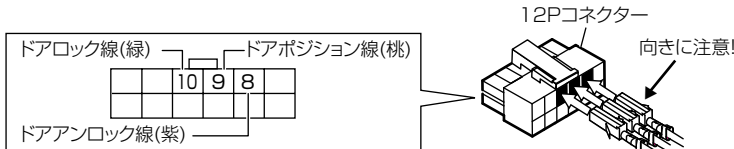
- 6) 12P コネクターの差込み番号を確認後、以下のようにしっかり差込んでください。

NO. 8 → ドアアンロック線（紫）

NO. 9 → ドアポジション線（桃）

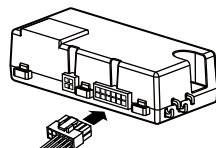
NO. 10 → ドアロック線（緑）

※一度差込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



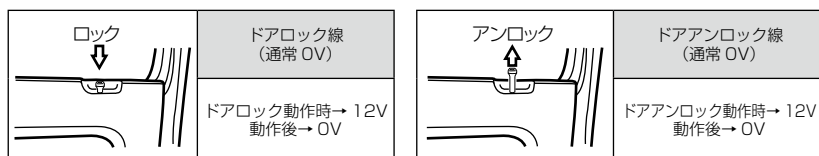
オプションの取付け

7) メインユニットに 12P コネクターを差込んでください。

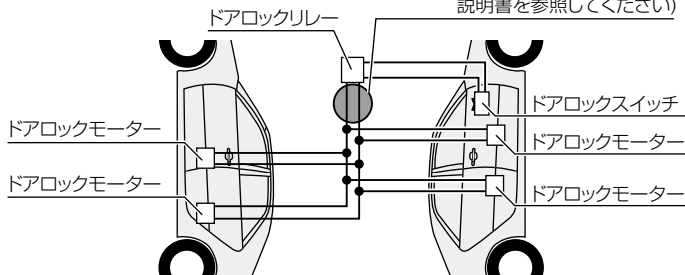


**B タイプ ……オプション Be-965 (ワイヤレスドアロックアダプター) が
必要なタイプ**

1) 接続概要図



接続箇所(詳しくはオプションBe-965取扱
説明書を参照してください)



2) 取付け方法についてはオプション Be-965 に付属の取扱説明書を参照し
てください。

カーテシ配線による安全機能 OP

カーテシ配線を行う事で、リモコンでエンジン始動中にドアを開けるとエンジンを停止させることができます。

オプション Be-970（ワイヤレスドアロック配線キット）または Be-963（カーテシ線）が必要になります。

⚠ 注意

- ・多重通信車はカーテシ検出できません。
- ・カーテシ配線を行った場合、車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。
- ・ターボタイマー中はエンジンは停止しません。

カーテシ検出の設定（初期設定は 1）

ご使用状況により下記の 3 種類の設定に変更できます。（⇒ P51）

設定 1 …… リモコンでエンジン始動中にドアを開けると、約 15 秒後にエンジンを停止させる。

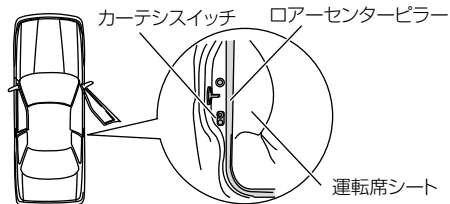
設定 2 …… リモコンでエンジン始動中にドアを開けると、即エンジンを停止させる。

設定 OFF …… リモコンでエンジン始動中にドアを開けても、エンジンは停止しません。

注 1. 設定 1、2 の場合ドアを開けた状態でリモコンでスタートをしても、エンジンは始動しません。必ずドアを閉めた状態でリモコンでスタートしてください。

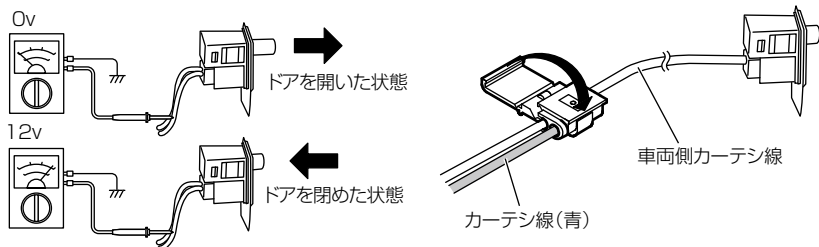
注 2. 設定 1 の場合に、リモコンでエンジン始動中、ドアを開けて約 15 秒以内にキーを ON の位置まで回すと、エンジンは停止しません。（カーテシ検出による安全機能を強制解除）

1) 運転席側ロアーセンターピラーのカバーをはずします。



オプションの取付け

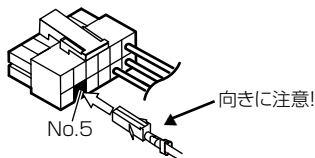
- 2) 車両側カーテシ線をテスター等で探し、カーテシ線（青）と車両側カーテシ線をエレクトロタップで接続します。



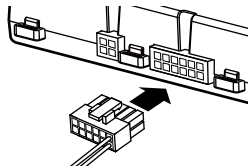
※エレクトロタップ使用法は（⇒P11）

- 3) 12P コネクターのNo.5にカーテシ線（青）をしっかり差込んでください。

※一度差込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

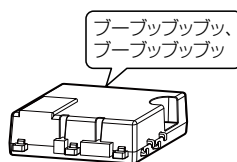


- 4) メインユニットに 12P コネクターを差込んでください。



- 5) リモコンでエンジン始動後、アイドリング中にドアを開けてエンジンが停止し、動作不良エラー確認表（⇒P21 No.9）のブザー音「ブーブブブッ、ブーブブブッ」が鳴っているか確認してください。

※初期設定ではドアを開けると約 15 秒後にエンジンが停止します。ドアを開けて、エンジンが停止しない場合は、接続およびカーテシ検出の設定（⇒P51）を確認してください。

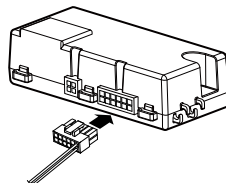


弊社製カーセキュリティ連動について **OP**

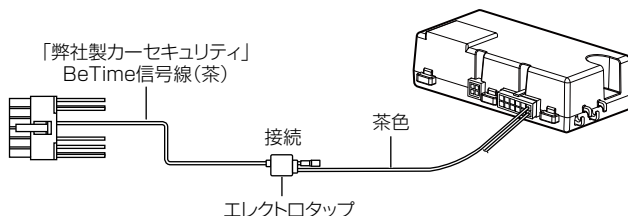
弊社製カーセキュリティと接続する

セキュリティシステム接続線（茶）を弊社製カーセキュリティの BeTime 信号線（茶）と接続することで、本製品のリモコンでセキュリティのスタート／ストップ操作ができます。

- 1) メインユニットに 12P コネクターを差込んでください。



- 2) 12P コネクターの No.7 から出ているセキュリティシステム接続線（茶）と弊社製カーセキュリティから出ている BeTime 信号線（茶）を付属のエレクトロタップで接続してください。

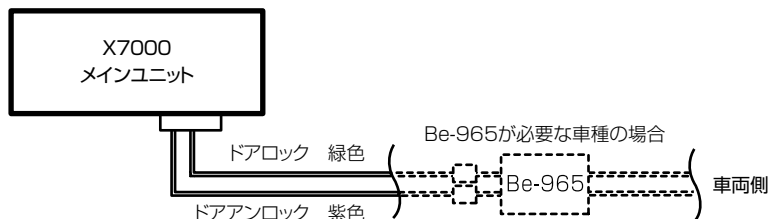


※ キー ON で弊社製カーセキュリティシリーズが作動停止します。

下図のような配線を行うことにより、本製品のリモコンおよび弊社製カーセキュリティのリモコンでドアロック／ドアアンロックさせることができます。

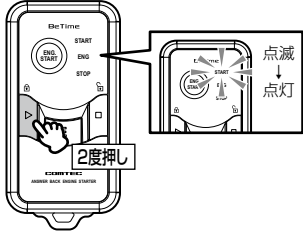
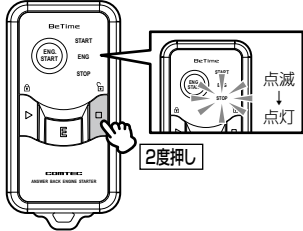
(⇒ P30 ～ 34)

例) X7000 の場合（セキュリティ側で配線を行ってください）



オプションの取付け

本製品のリモコンでセキュリティのスタート／ストップをする

リモコンの操作方法	
スタートさせる	ストップさせる
1. スタートスイッチ (▶) を押し、START ランプ (白) を点滅させ、点滅している間に再度スタートスイッチ (▶) を押します。  2. リモコンからの電波を受信すると、セキュリティがスタートします。	1. ストップスイッチ (■) を押し、STOP ランプ (白) を点滅させ、点滅している間に再度ストップスイッチ (■) を押します。  2. リモコンからの電波を受信すると、セキュリティがストップします。

※ ドアロック配線をしている場合、セキュリティを作動させるとドアロック機能も連動して作動します。

警報中のセキュリティをストップさせる

セキュリティが作動中または警報中の時に、本製品のリモコンでセキュリティストップ操作またはキーでエンジンを始動すると、作動および警報が停止します。

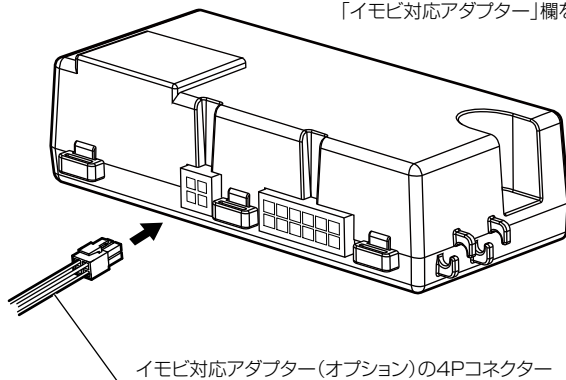
⚠ 注意
一部の弊社製カーセキュリティでは本製品のリモコンでスタート／ストップ操作ができません。ご購入前に必ず、エンジンスターター車種別専用ハーネス適合表の「BeTime リモコンとセキュリティリモコンの操作互換表」でご確認ください。 本製品または、弊社製カーセキュリティのリモコンで、セキュリティスタート・ストップを行う場合は、誤作動防止とセキュリティ機能向上のために下記の事項をお守りください。 ・本製品のリモコンでセキュリティ連動スタートした場合は、必ず本製品のリモコンでセキュリティストップしてください。 ・セキュリティのリモコンでセキュリティスタートした場合は、必ずセキュリティのリモコンでセキュリティストップしてください。

イモビ対応アダプターの取付け **OP**

本機は一部のイモビライザー装着車に対して、弊社オプションのイモビ対応アダプターを取付けることで本製品のリモコンでエンジン始動させることができます。

※ 取付方法についてはイモビ対応アダプターに付属の取扱説明書を参照してください。

※対応車種はハーネス適合表の「イモビ対応アダプター」欄を参照ください。



イモビ対応アダプター(オプション)の4Pコネクター

P ポジション配線について **OP**

- 一部車両で本製品をつけることによりエンジンを停止する時に、シフトレバーがP (パーキング)、N (ニュートラル) 位置以外でキーが OFF まで回りキーが抜けてしまう場合は Be-963(カーテシ線・P ポジション線兼用) が必要になる場合があります。
- ターボタイマー使用時に車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合 Be-973 (シフト検出アダプター) が必要になる場合があります。
- エンジンを止める時には必ずシフトレバーがP (パーキング) の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。

- 1) P ポジション検出線を接続後必ず初期設定および動作確認が必要です。
(初期設定および動作確認後 P ポジション線の接続が有効になります。)
(⇒ P15 ~ 18)
- 2) ターボタイマー作動中シフトレバーがPまたはN位置以外でキーを OFF にしてキーが抜けないことを確認してください。
- 3) 2) でキーが抜ける場合は再度 1) から接続を確認してください。

※上記の 2) 3) は、Be-973 (シフト検出アダプター) 接続時のみです。

リモコンの使用法

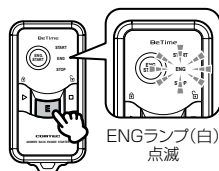
エンジンを始動させる

リモコンで下記の動作を行うとエンジン始動できます。エンジン始動後、設定したアイドリング時間（⇒ P46）が過ぎると自動的にエンジンを停止します。

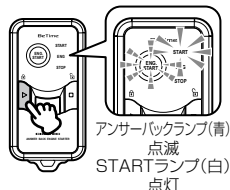
⚠ 注意

- ・リモコンを操作する時はアンテナを伸ばしてください。伸ばさないと著しく電波飛距離が短くなります。
- ・電池を交換した時は必ず下記動作を行ってリモコンのLEDランプが点滅・点灯するか確認してください。
- ・リモコンでエンジンを始動する時に、車のオートライト機能を「AUTO」にしている場合、エンジン始動と同時にヘッドライトが点灯したままになることがあります。必ずオートライト機能を「OFF」にしてから、リモコンでエンジン始動を行ってください。
- ・車から発生するノイズの影響でエンジン始動より、エンジン停止させる方が通信距離が短くなる事があります。
- ・同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、リモコンの受信音が「ブップブッ」と鳴り送信を行えません。

- 1) エンジンスイッチ (E) を押し、ENG ランプ (白) を点滅させます。



- 2) ENG ランプ(白)が点滅中にスタートスイッチ (▶) を押し、アンサーバックランプ (青) が点滅し、START ランプ (白) が点灯します。



- 3) メインユニットがリモコンからの電波を受信すると、下記のような動作をし、エンジンが始動します。

- ・メインユニットからブザー音が「ピーッ」と1秒間鳴ります。
- ・リモコンのアンサーバックランプ (青) がゆっくり点滅します。



※メインユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのアンサーバックランプ (青) は点滅しません。(アンサーバック音をメロディまたは、ブザーに選択されている場合はNG音が鳴ります)

- 4) エンジンが始動すると、メインユニットがリモコンへエンジン始動の確認電波（アンサーバック信号）を送ります。※ 1

リモコンが電波（アンサーバック信号）を受信すると、リモコンのアンサーバックランプ（青）が点灯します。※ 2

エンジン始動しなかった場合はリモコンへのアンサーバック NG 音は鳴りません。

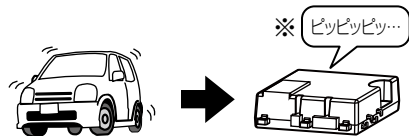
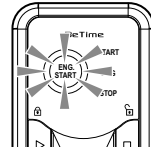
※ 1 リトライでエンジンを始動した時は、リモコンへの電波（アンサーバック信号）は送信されません。

その場合は、「エンジンが始動しているか確認する」をご確認ください。（⇒ P42）

※ 2 一部車両でエンジン始動時の電気ノイズや場所によっては、周囲の電波の影響を受けて、START ランプ（青）が点灯（アンサーバック）しないことがあります。

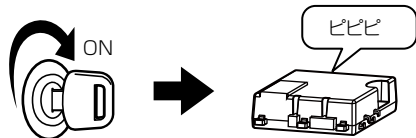
- 5) エンジン始動後、アイドリングを開始すると、メインユニットからブザー音が「ピッピッピッ…」と連続して鳴ります。

アンサーバックランプ(青)
点灯



※アイドリング中のブザー音は消音できません。

- 6) リモコン操作でエンジン始動中に、キーを ON まで回すと、メインユニットのブザー音が「ピピピ」と鳴ります。



📞 アドバイス

- ・本機でエンジンを始動した状態のままでは走行できません。運転する時は、必ずキーを ON の位置まで回してから走行してください。
- ・フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずに操作してください。
- ・エンジンスターター作動中にキーノブが ON まで回らない車両は、一度エンジンを停止してから、エンジンを再始動してください。
- ・リモコンでエンジン始動中、キーを ON の位置まで回さずに ACC の位置で止めると、安全機能が働き、約 3 秒後にエンジンが自動停止します。

⚠️ 注意

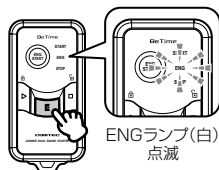
リモコンでエンジン始動中、キーを START の位置まで回すと、セルモーターが故障するおそれがあるため、必ず ON の位置でキーを止めてください。

リモコンの使用法

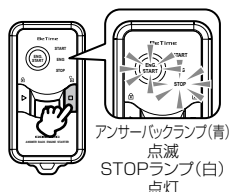
エンジンを停止させる

リモコンでエンジン始動中または、ターボタイマー作動中に下記の動作を行うとエンジンを停止します。

- 1) エンジンスイッチ (E) を押し ENG ランプ (白) を点滅させます。



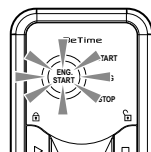
- 2) ENG ランプ (白) が点滅中にストップスイッチ (■) を押すと、アンサーバックランプ (青) が点滅し、STOP ランプ (白) が点灯します。



- 3) メインユニットがリモコンからの電波を受信すると、リモコンのアンサーバックランプ (青) が点滅し、エンジンが停止します。

※メインユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのアンサーバックランプ (青) は点滅しません。(アンサーバック音をメロディまたは、ブザーに選択されている場合は、NG 音が鳴ります)

アンサーバックランプ(青)
点灯



エンジンが始動しているか確認する

エンジン始動しているか再度確認する場合、「エンジンを始動させる」と同じ要領で、リモコン操作を行います。(⇒ P40 ~ 41)

- ・エンジンがかかっているれば、アンサーバックランプ (青) が点灯します。
- ・エンジンがかかっていなければ、再びエンジン始動を行います。

※ 場所によって、周囲の電波の影響を受けて通信距離が極端に短くなる場合があります。また、車両電気ノイズの影響でエンジンを始動させるより、エンジンを停止させる方が短くなります。

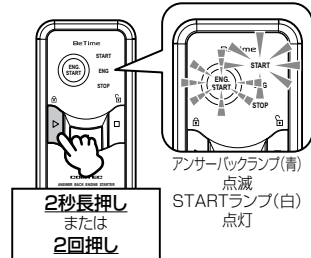
ドアロック／ドアアンロックの操作方法 **OP**

本機リモコンでドアロック／ドアアンロック作動させることができます。

※ 別売オプションを使用して、車両ヘドアロック／ドアアンロックの配線が必要です。
(⇒ P30 ～ 34)

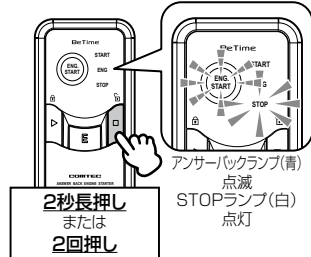
ドアをロックする

- 1) スタートスイッチ (▶) を **2 秒長押し** または 2 回押しすると、アンサーバックランプ (青) が点滅し、START ランプ (白) が点灯します。
- 2) 車両のドアがロックされます。



ドアをアンロックする

- 1) ストップスイッチ (■) を **2 秒長押し** または 2 回押しすると、アンサーバックランプ (青) が点滅し、STOP ランプ (白) が点灯します。
- 2) 車両のドアがアンロックされます。



👉 アドバイス

本製品を弊社カーセキュリティと接続(⇒ P37)している場合、スタートスイッチ (▶)、ストップスイッチ (■) の 2 回押しの操作でドアロック／ドアアンロック操作を行うと、セキュリティが連動してスタート／ストップを行います。

リモコンの使用法

オートロック機能について **OP**

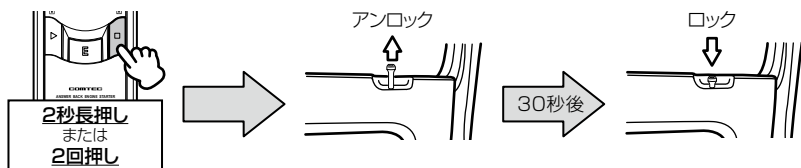
⚠ 注意

設定 1 および 2 の場合本機リモコンでドアをアンロックした時に、約 30 秒後に自動的にドアをロックします。キーのインロックをしないように、十分に注意してください。

オートロック機能とは、オートロックの設定を「設定 1」または「設定 2」にした場合、本機のリモコンでドアをアンロックした後、約 30 秒後に自動的にドアをロックする機能です。

※ 別売オプションを使用して、車両ヘドアロック／ドアアンロックの配線が必要です。
(⇒ P30 ～ 34)

※ 初期設定は設定 OFF



オートロック機能には下記の 3 種類の設定（解除）があります。

設定 1 …… リモコンでドアをアンロックした後に、約 30 秒以内にキーを ON するか、またはいずれかのドアを開けるとオートロック機能の作動を解除できます。（カーテシ配線が必要です）（⇒ P35、36）

設定 2 …… リモコンでドアをアンロックした後に、約 30 秒以内にキーを ON するとオートロック機能の作動を解除できます。

設定 OFF … オートロック機能は作動しません。（初期設定）

設定方法の詳細は（⇒ P50）

機能設定

各種設定を変更する

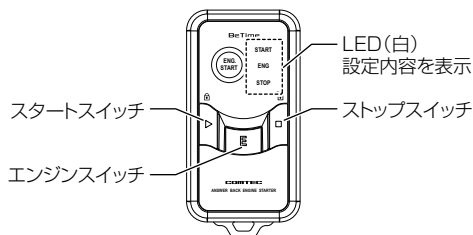
設定モード内で下記の設定を、リモコン操作で変更することができます。

- ①アイドリング時間
- ②ターボタイマー
- ③セルストップ方式
- ④セル延長時間（セルストップ方式をオート設定時のみ有効）
- ⑤セルストップ時間（セルストップ方式をマニュアル設定時のみ有効）
- ⑥グロー時間
- ⑦オートロック
- ⑧カーテン検出
- ⑨通信周波数切替
- ⑩ディスプレイモード

⚠ 注意

- ・設定モード開始から 30 秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。
- ・設定登録の操作を行わないと、変更した設定内容は全て無効になります。

機能設定



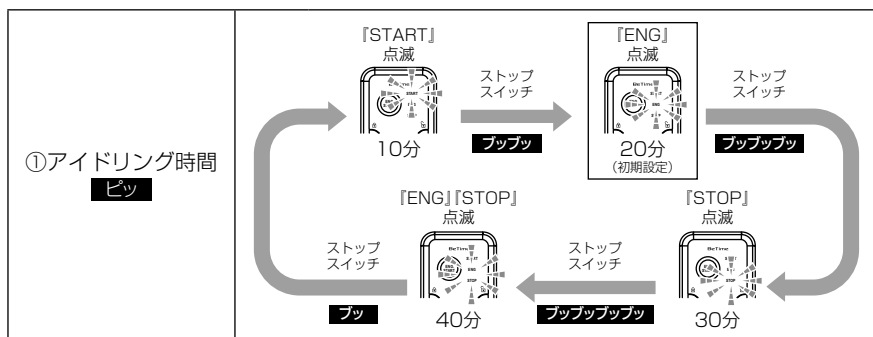
※リモコンを操作する時は、
アンテナを伸ばしてください。

設定開始

エンジンを停止し、キーを抜いた状態でリモコンのエンジンスイッチ (E) とスタートスイッチ (▶) を**同時に 5 秒間長押し**すると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。



↓	スタートスイッチ 1 回押し
→	ストップスイッチ 1 回押し



スタートスイッチ

次ページへ

前ページのつづき



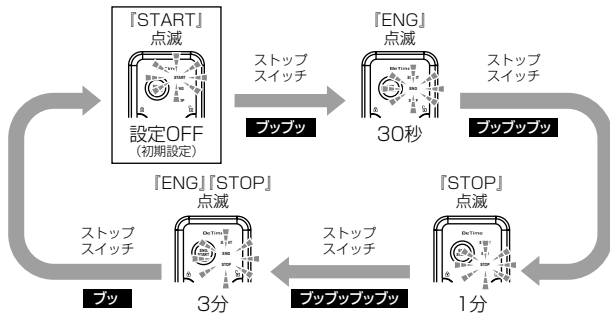
START スイッチ 1 回押し



STOP スイッチ 1 回押し

②ターボタイマー

ピッピッ



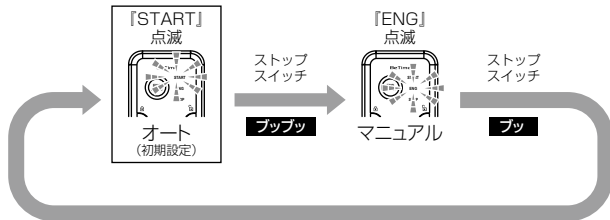
※設定を変更しても、エンジンを始動して 15 秒以上経過しないと、ターボタイマーは作動しません。



START スイッチ

③セルストップ方式

ピッピッピッ



START スイッチ

次ページへ

機能設定

前ページのつづき



START スイッチ 1 回押し

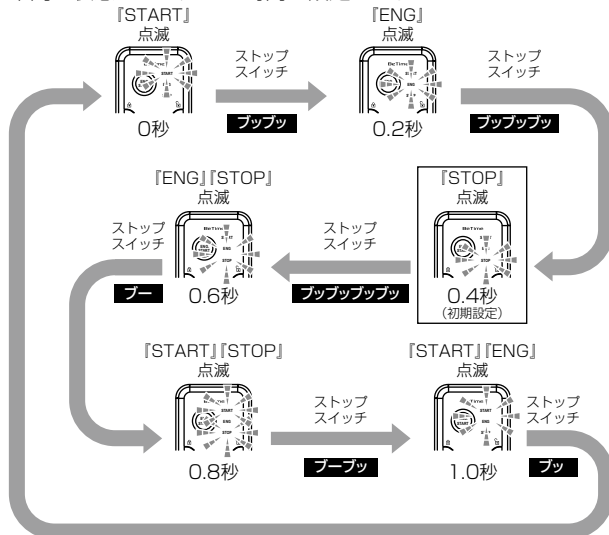


STOP スイッチ 1 回押し

④セル延長時間
(オートのみ有効)

ビッビッビッビッ

車両の状態にあったセル時間に設定します。



※間違った設定をすると、セルモーターの故障につながる恐れがあります。「セル時間の設定について」を参照して、設定してください。(⇒ P54)



START スイッチ

次ページへ

前ページのつづき



START スイッチ 1 回押し

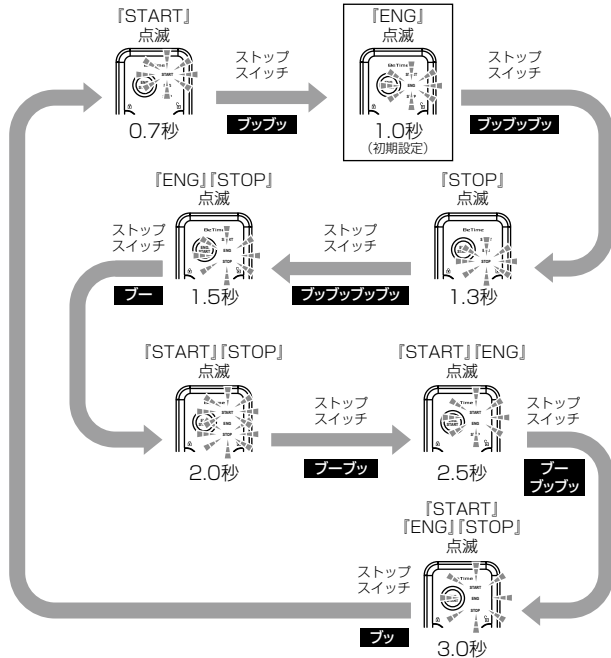


STOP スイッチ 1 回押し

セルモーターのひきずりがある場合や、エンジンが始動しにくい場合に設定を変更します。

⑤セルストップ時間
(マニュアルのみ有効)

ビー



※間違った設定をすると、セルモーターの故障につながる恐れがあります。「セル時間の設定について」を参照して、設定してください。(⇒ P54)



START スイッチ

次ページへ

機能設定

前ページのつづき	↓	START スイッチ 1 回押し
↓	→	STOP スイッチ 1 回押し

⑥ グロー時間※
ピーピー

IG を ON からセルをスタートさせるまでの時間（グロー時間）を設定します。

※ ガソリン車は 5 秒に設定します。ディーゼル車の一部車両は 8 秒に設定します。
リモコンでエンジン始動して問題がない場合は、設定の変更は不要です。

↓ START スイッチ

⑦ オートロック
ピーピー

設定 1…リモコンでドアアンロック後、約 30 秒以内にキーを ON にするかドアを開けると、オートロックが解除します。（カーテシ配線が必要です）
設定 2…リモコンでドアアンロック後、約 30 秒以内にキーを ON にすると、オートロックが解除します。（ドアを開けても、オートロックは解除されません）

↓ START スイッチ

次ページへ

前ページのつづき

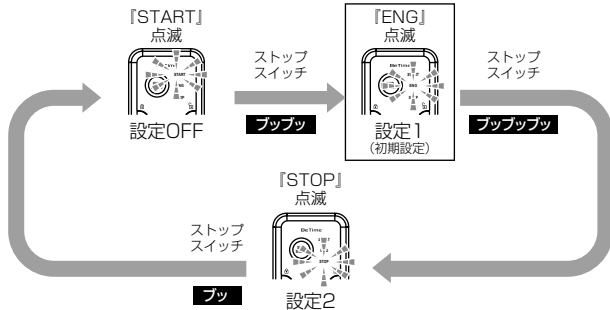


START スイッチ 1 回押し



STOP スイッチ 1 回押し

⑧カーテシ検出
ピーピーピーピー



設定 1…リモコンでエンジン始動中、ドアを開けると約 15 秒後にエンジンを停止します。

設定 2…リモコンでエンジン始動中、ドアを開けると即エンジンを停止します。

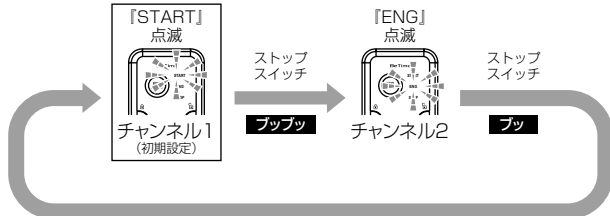
※カーテシ配線を行った場合、車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。



START スイッチ

⑨通信周波数切替※
ピーピーピーピー

混信・妨害電波・同周波数帯の電波状況などにより、通信が安定しない場合に設定します。



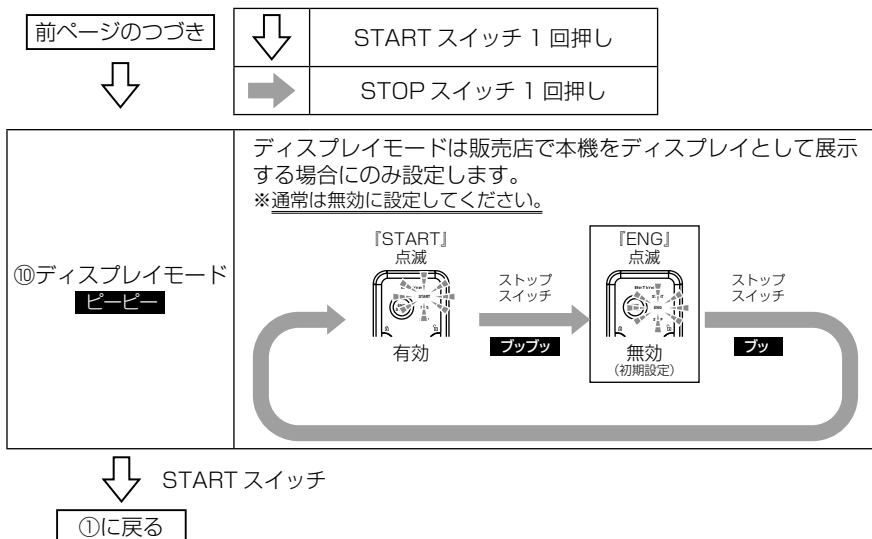
※リモコンでエンジン始動して通信に問題がない場合は、設定の変更は不要です。



START スイッチ

次ページへ

機能設定

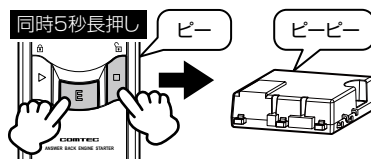


備考：■ はリモコンからのブザー音を示します。

設定登録

リモコンのエンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) を同時に 5 秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピー」と鳴り、メインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。

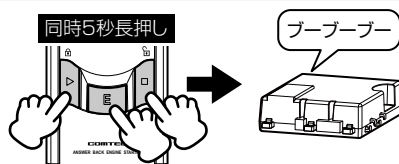
※ 設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。



オールリセット (初期設定) する

設定モード状態 (⇒ P45) でリモコンのエンジンスイッチ (E) とスタートスイッチ (▶) とストップスイッチ (■) を同時に 5 秒間長押しすると、メインユニットからブザー音が「ブーブー」と鳴り、全ての機能が初期設定になります。

※ エンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) で設定登録作業を行う必要はありません。



ターボタイマーの設定について

※ 初期設定は設定 OFF

エンジンを始動してから 15 秒以上経過し、キーを OFF にした場合にターボタイマーが作動します。

ターボタイマー時間（アフターアイドル時間）の設定を下表の 4 段階に変更できます。

設定方法の詳細は（⇒ P47）

ターボタイマー時間
設定 OFF
約 30 秒
約 1 分
約 3 分

⚠ 注意

- 一部の車両で本製品をつけると、ターボタイマー使用時にシフトレバーが （パーキング）、（ニュートラル）位置以外でキーが OFF まで回りキーが抜けてしまい、車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプションの Be-963（カーテシ線・P ポジション線兼用）または Be-973（シフト検出アダプター）等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーが （パーキング）の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。
- ターボタイマー作動時に、車のオートライト機能を「AUTO」にしている場合、ターボタイマー作動中はヘッドライトが点灯したままになることがあります。必ずオートライト機能を「OFF」にしてから、ターボタイマーを作動させてください。

ターボタイマーを停止するには？

ターボタイマー作動中に下記のいずれかの動作を行うとエンジンが停止します。

- フットブレーキ配線を行なっている場合、フットブレーキを踏みます。
（⇒ P24）
- リモコンのエンジンスイッチ (E) を押して ENG ランプ（白）が点滅中にストップスイッチ（）を押します。
- キーを ACC の位置で約 3 秒以上待ちます。

機能設定

セル時間の設定について

セルストップ方式の設定をオートまたはマニュアルにし、オートはセル延長時間、マニュアルはセルストップ時間を設定することで、エンジンの始動しやすい車両状態に設定できます。

【セルストップ方式】

セルモーター回転時間の方式の選択

【セル延長時間】

エンジン始動後のセルモーターの引きずり時間の調整

【セルストップ時間】

オートでは調整がしきれない場合にセルモーターの回転時間を任意で固定。

設定方法の詳細は（⇒ P47 ～ 49）

アドバイス

こんなときは

・エンジンスタートするがセルをひきずる場合

セルストップ方式がオートの場合は延長時間を現状の設定より短めに設定し、それでもひきずる場合はセルストップ方式をマニュアルに設定して、セルストップ時間を現状の設定より短めに設定してください。

・エンジンのかかりが悪くリトライをする場合

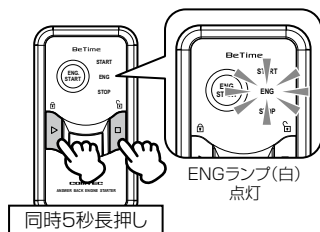
セルストップ方式がオートの場合はセル延長時間を現状の設定より長めに設定し、それでもセルが短い場合はセルストップ方式をマニュアルに設定して、セルストップ時間を現状の設定より長めに設定してください。

アンサーバック音を切替える

リモコンのアンサーバック音を、メロディ 1 / メロディ 2 / ブザー / 無音の中から選択することができます。(初期設定は、メロディ 1)

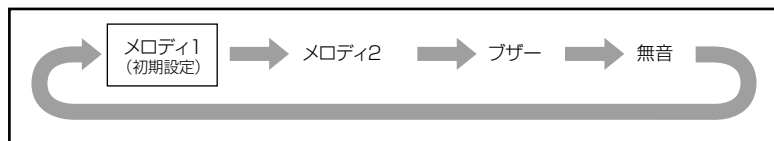
- 1) スタートスイッチ (▶) と、ストップスイッチ (■) を同時に 5 秒長押しします。

ENG ランプ (白) が点灯します。



アドバイス

スタートスイッチ (▶) とストップスイッチ (■) を同時に 5 秒長押しする度にメロディ 1 → メロディ 2 → ブザー → 無音の順で切り変わります。



メロディ 1 を選択する場合 ……メロディ音 1 が鳴ったら止めます。

メロディ 2 を選択する場合 ……メロディ音 2 が鳴ったら止めます。

ブザーを選択する場合 ……ブザー音 (ピーツ) が鳴ったら止めます。

無音を選択する場合 ……ブザー音 (ピツ) と鳴ったら止めます。

付録

リモコンの ID コードを再登録する

以下の場合に ID コードを再登録してください。

- ・リモコンを紛失または破損した場合、新しいリモコン（別売）を購入していただき、「ID コード」をメインユニットに再登録することで引き続きご使用いただけます。

⚠ 取付けた時や車両バッテリーを交換・取外した場合

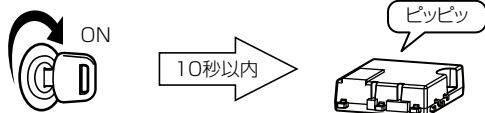
取付けた時や車両バッテリーを交換・取外した時は、リモコンの ID コードの再登録を行う前に、必ず初期設定および動作確認（⇒ P15 ～ 18）を行なってください。

初期設定および動作確認を行わないと本製品で**エンジン始動できません**。

それでもリモコン操作できない場合は ID コードの再登録を行ってください。

ID コードの再登録方法

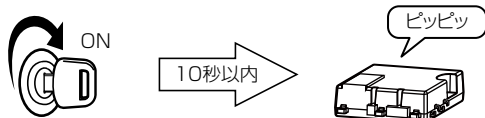
- 1) キーを OFF の位置から ON の位置まで回して止めてください。
10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



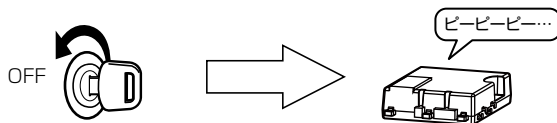
- 2) 1) のブザーが鳴ってから 5 秒以内に、キーを OFF の位置へ回してください。



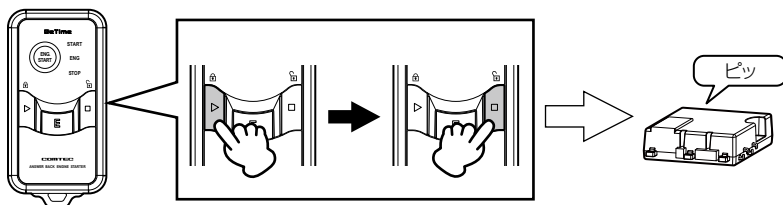
- 3) キーを OFF の位置へ回してから 5 秒以内に、再度 ON の位置まで回して止めてください。10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



- 4) 3) のブザーが鳴ってから 5 秒以内 にキーを再度 OFF の位置へ回してください。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と 10 秒間 鳴ります。



- 5) 4) のブザーが 10 秒間 鳴っている間に、リモコンのスタートスイッチ (▶) を押して、リモコンの START ランプ (白) が点滅している間に、ストップスイッチ (■) を押してください。メインユニットからブザー音が「ピッ」と鳴り、再登録は完了します。



※ 指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。

📱 アドバイス

ID コードとは

- ・ リモコンにはそれぞれ重複しないように「ID コード」が設定されておりメインユニットの「ID コード」と一致しなければ、エンジンを始動させる事ができないようになっています。
- ・ 必ずリモコン、メインユニットが全て同一モデルになっていないと ID コードの登録はできません。

付録

リモコンの ID コードを追加登録する

ID コードを追加登録することで付属のリモコン以外に、もう1つ本製品のリモコンを追加して使用することができます。(付属のリモコンを含め合計 2 個まで)

弊社製カーセキュリティのリモコンを追加登録して使用することはできません。

ID コードの追加登録方法

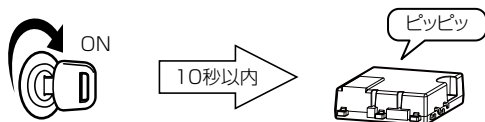
- 1) キーを OFF の位置から ON の位置まで回して止めてください。10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



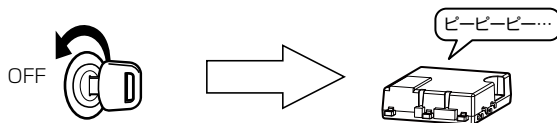
- 2) 1) のブザーが鳴ってから 5 秒以内に、キーを OFF の位置へ回してください。



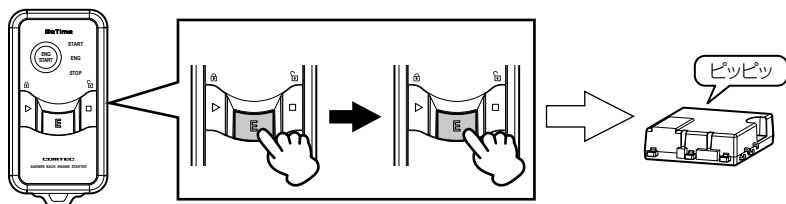
- 3) キーを OFF の位置へ回してから 5 秒以内に、再度 ON の位置まで回して止めてください。10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



- 4) 3) のブザーが鳴ってから 5 秒以内 にキーを再度 OFF の位置へ回してください。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と 10 秒間 鳴ります。



- 5) 4) のブザーが 10 秒間 鳴っている間に、リモコンのエンジンスイッチ (E) を押して、リモコンの ENG ランプ (白) が点滅している間に、もう一度エンジンスイッチ (E) を押してください。メインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴り、追加登録は完了します。



※ 指定した時間を経過した場合や順番を間違えた場合はキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。

付録

通信周波数切替方法について

混信・妨害電波・同周波数帯の電波状況等により、通信ができなかったり、アンサーバックがリモコンに戻ってこない等、通信が安定しない場合は下記操作を行い、通信周波数チャンネルを任意で切替えることによって本機をより安定した電波環境で使用できます。

⚠ 注意

- ・メインユニットとの通信ができない場所では本設定は行えません。
- ・通常は通信周波数を変更する必要はありません。

機能設定（⇒ P51）より設定変更を行います。

通信周波数を変更する

通信周波数をチャンネル 1 からチャンネル 2 へ変更する手順を説明します。
（チャンネル 2 からチャンネル 1 の変更も同様）

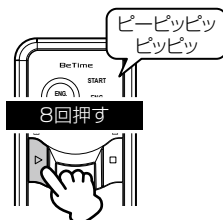
- 1) エンジンを停止し、キーを抜いた状態でリモコンのエンジンスイッチ (E) とスタートスイッチ (▶) を同時に 5 秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。



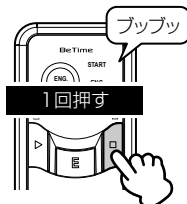
⚠ 注意

- ・設定モード開始から 30 秒間リモコンスイッチの設定操作を行わないと、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。
- ・設定登録の操作を行わないと、変更した設定内容は全て無効になります。

- 2) スタートスイッチ (▶) を 8 回押し、⑨通信周波数切替 (「ピーピーピーピーピー」と鳴ります) まで移動します。(⇒ P51)



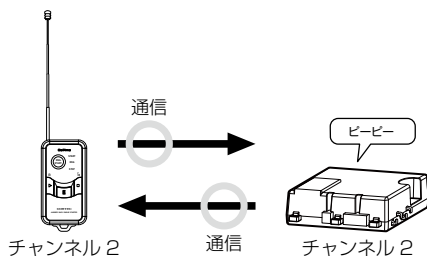
- 3) ストップスイッチ (■) を 1 度押し、チャンネル 2 (「ブブブ」) と鳴ります) に切替えます。



- 4) リモコンのエンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) を同時に 5 秒間長押しすると、メインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。

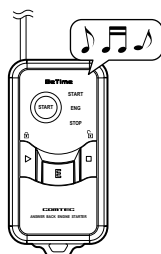
※設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。

※この時、リモコンとメインユニットが通信できない場合は (⇒ P63) へ



- 5) リモコンへアンサーバック OK 音が返ってくれば設定完了です。

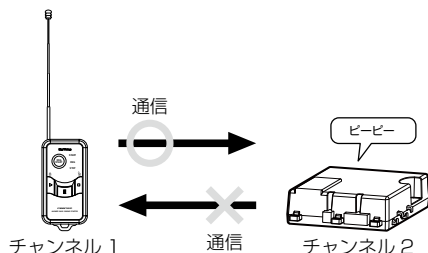
※この時リモコンへのアンサーバックが NG の場合は (⇒ P62) へ



付録

アンサーバックが NG の場合

リモコンへのアンサーバックが NG 音となり、メインユニットのみチャンネル 2 へ変更され、リモコン側はチャンネル 1 のまま変更されていないときは、リモコン単体のみ周波数切替を行う必要があります。



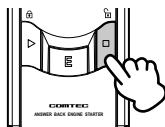
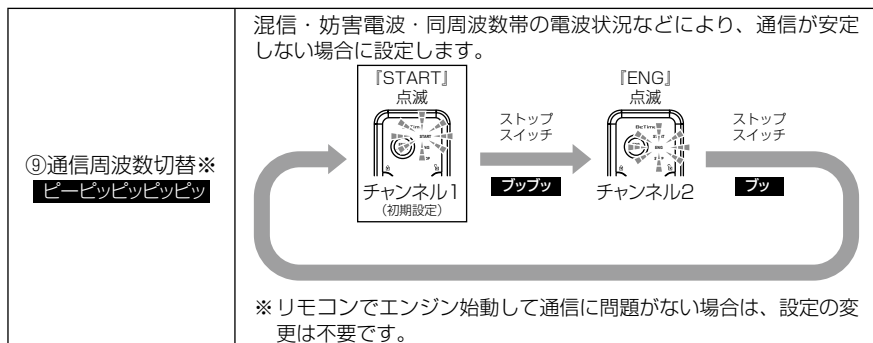
※ 通信周波数切替方法の設定で設定登録後リモコンへのアンサーバックが NG になってしまった場合にリモコン単体のみ周波数切替を行います。

⚠ 注意

- ・メインユニット側がチャンネル 2、リモコン側がチャンネル 1 と相違しているためリモコンとメインユニットとの通信が一切の操作が行えません。
- ・必ずリモコンとメインユニット側のチャンネルを合わせてください。

- 1) リモコンのエンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) を同時に **10 秒間長押し**すると、リモコンからブザー音が「ピーピッピッピッピッ」と鳴り、設定モードに入ります。

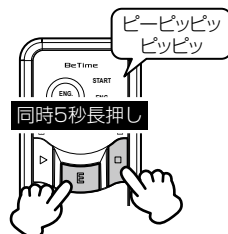
※この場合のみ、機能設定の⑨通信周波数切替へ直接設定が移行します。



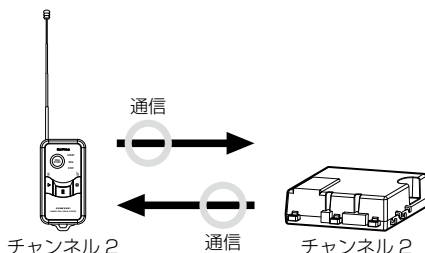
設定⑨通信周波数切替にて STOP スイッチ 1 度押すことでチャンネル 2 へ切替えます。

- 2) リモコンのエンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) を**同時に 5 秒間長押し**すると、リモコンからブザー音が「ピーピーピーピーピー」と鳴り、リモコンの周波数設定が『チャンネル 2』に変更されます。

※設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。

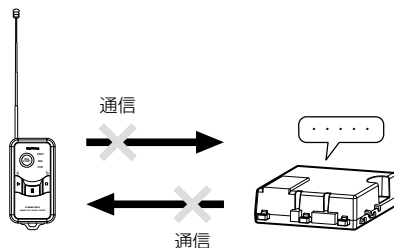


- 3) リモコンとメインユニットとの通信が可能になれば設定完了です。



リモコンとメインユニットが通信できない場合

- ・リモコンとメインユニットの間で通信ができず、メインユニットから「ピーピー」と鳴らないときは、混信・妨害電波・同周波数帯の電波状況等によりリモコンとアンテナユニット間の通信が行えない状況ですので車両を移動する等、通信が行える場所へ移動し再度設定を行ってください。(⇒ P60)
- ・リモコンのみチャンネルが変わっていることが考えられます。リモコン単体の通信周波数切替方法によりリモコンとメインユニットのチャンネルを同一にする必要があります。(⇒ P62)



付録

オプションについて

本機は以下のオプションを取付け可能です。

品 番	品 名	使用目的
Be-963	カーテシ線	リモコンでエンジン始動時に車両のドアを開けるとエンジンを強制的に停止します。
	P ポジション線	オートロック解除やターボタイマー中にシフトがパーキングの位置にない場合にエンジンを強制的に止めます。 ※一部車両で取付けできない場合があります。
Be-965	ワイヤレス ドアロックアダプター	ドアロック配線の出力信号を 12V 出力方式に反転させます。 ※対応車種は車種別専用ハーネス適合表の「ドアロック配線方式」欄を参照してください。
Be-966	L 端子検出アダプター	L 端子信号の電圧が低く L 端子検出ができない車両に取付け、L 端子信号の検出を可能にします。
Be-968	アンサーフラッシュリレー	BeTime のリモコンによるロック・アンロック / セキュリティスタート・ストップ時に、車両のハザードなどを点滅させます。 ※商品により点滅動作できる機能は異なります。
Be-970	ワイヤレスドアロック 配線キット	ワイヤレスドアロック機能の追加可能な商品でワイヤレスドアロック機能を追加する際に、必要になります。
Be-973	シフト検出アダプター	一部ホンダ車でターボタイマー使用時  (パーキング) 以外でキーが抜けるのを防止します。
Be-974	多重通信ドアロック アダプター	ドアロック信号が多重通信で行われている車両に取付けることにより、本機でのドアロックが可能になります。
Be-975	オートスライド ドアユニット	エンジンスターターのリモコンでの、オートスライドドア（電動式）の開閉が可能となります。（片側のみ）
Be-976	セキュリティアラーム 対応アダプター	エンジンスターターのリモコンでエンジンを始動した時に純正セキュリティが作動（警報）することを防止します。
Be-IL01T ~ W05T, Be-IL31H ~ 38H, Be-IL51D ~ 53D, Be-IL61S, Be-IL501 ~ 506	イモビ対応アダプター	イモビライザー装備車に取付けることにより BeTime の使用（エンジン始動）が可能になります。 ※対応車種は車種別専用ハーネス適合表の「イモビ対応アダプター」欄を参照してください。
Be-IL21N, Be-IL22N, Be-IL23N	インテリジェントキー 対応ハーネス	インテリジェントキー装備車に取付けることにより BeTime の使用（エンジン始動）が可能になります。 ※対応車種は車種別専用ハーネス適合表の「インテリジェントキー対応アダプター」欄を参照してください。

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジンが始動しない。	・ 車種別専用ハーネスは車に適合していますか？	・ 適合した 車種別専用ハーネスをご使用ください。	—
※ 本体の電源が入らない。	・ 車種別専用ハーネスは確実に接続されていますか？	・ 確実に接続してください。	P12～14
	・ アース端子は接続されていますか？	・ アース端子をボディアースへ確実に接続してください。	P13
	・ リモコンの電池が消耗していませんか？	・ 新しい電池と交換してください。	P7
	・ リモコンのLED ランプは点滅しますか？	・ 電池カバーをしっかりとめて電池の導通をさせてください。	P7
	・ メインユニットのヒューズ (30A) が切れていませんか？	・ 車種別専用ハーネス等配線のショートが考えられます。配線を再確認後、市販のヒューズ (30A) 交換をしてください。	P28
リモコンでエンジンが始動しない。	・ 車種別専用ハーネスは車両に適合していますか？	・ 適合した 車種別専用ハーネスをご使用ください。	P13
※ 本体の電源が入る。	・ 車種別専用ハーネスは確実に接続されていますか？	・ 確実に接続してください。	P12～14
	・ バッテリー交換後、動作不良エラー No.4 (車両情報未検出エラー) のブザー音が「ブッブッブッ」と鳴っていませんか？	・ バッテリーを外した場合は、必ず、初期設定および動作確認を行ってください。	P15～18
	・ 車両側のイグニッション電源は作動しますか？セルモーターは作動しますか？	・ 初期設定および動作確認を行ない、ID コードを再登録 (⇒ P56～57) を行なってください。初期設定を行わないと本機は動作しません。	P15～18
	・ 初期設定および動作確認は全て終了し、ブザー音の確認もできましたか？		
	・ 動作不良エラーのブザー音が鳴りますか？	・ 動作不良エラー確認表を参照し、初期設定および動作確認を行ってください。	P20、21
	・ イモビライザー装着車ですか？	・ イモビ対応アダプター適合可能な場合は、イモビ対応アダプターを取付けてください。	P39
	・ アース端子は確実に接続されていますか？	・ アース端子が確実にアースポイントに、接続されているかを確認してください。	P13

付録

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジン始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・アイドリング時間の設定は確定ですか？	・「機能設定」を参照しながら、アイドリング時間を変更し、設定登録をしてください。	P46
	・リモコンでエンジン始動中、キーを入れて、ACC の位置で止めていませんか？	・正常です。ACC 検出機能が働いて、エンジンを停止します。(ACC 検出エラー音が鳴ります)	P20
ターボタイマーが作動しない。 (ACC 電源も切れる)	・ターボタイマー機能が設定されていますか？(初期設定は設定 OFF)	・「機能設定」を参照しながら、ターボタイマー時間を変更し、設定登録をしてください。	P47
	・エンジン始動後、15 秒以内にキーを OFF にしていませんか？	・エンジン始動後、15 秒以上経過してから、キーを OFF にしてください	P53
	・動作不良エラー No.1 (フットブレーキ検出エラー) のブザー音が「ブー、ブー」と鳴っていませんか？	・フットブレーキ検出が正常の場合、キーを OFF する時に、約 5 秒以上フットブレーキを踏んでいる可能性があります。(キーを OFF する時は、約 5 秒以上フットブレーキを踏まないでください)	P20、24
リモコンで操作できる距離が極端に短い。	・リモコンのアンテナは伸ばしてありますか？	・リモコンのアンテナを伸ばしてください。	P8
	・リモコンを手等で包みこんでいませんか？	・リモコンを正しく操作してください。	P8
	・リモコンと車の間に遮蔽物がありますか？(金属・鉄筋コンクリート・トタン壁等)	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。 ※ 電気の流れる材質は、電波を通しにくいです。	P8
	・リモコンの電池電圧が低下していませんか？	・新しい電池と交換してください。	P7

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
エンジンが始動しない。	・バッテリーを交換しましたか？ ・本機の付け替えをしましたか？ ・車種別専用ハーネスを外しましたか？	・初期設定および動作確認を行ってください。 - 必ず初期設定を行わないと本機は作動しません。	P15～18
	・リトライをしていませんか？	・イモビ／インテリジェントキー装着車の場合、適合するイモビ／インテリジェントキー対応アダプターを取付けてください。	P39
		・セル始動方式および、セル延長時間、セルストップ時間の確認をおこなってください。	P54
		・エンジンがかかったり止まったりをくり返す場合は、L端子配線を行ってください。	P25～27
	・気温は低くないですか？	・気温が低いとエンジン自体のかかりが悪いため、セル時間の設定を少し長めに設定してください。 ・セル延長時間を現状の設定より、長くしてください。	P47～49、P54
初期設定および動作確認時に「ピーピーッ」が鳴らない。 (L端子検出線接続時は「ピーピーッ」)	・エンジン始動時、セルの回る時間が短くありませんか？	・車両情報を認識させるため、セルを通常より長めに回しエンジンを始動させてください。	P16
初めはエンジン始動していたが後日エンジン始動ができなくなった。	・動作不良エラー No.2 (P/N 検出エラー) のプザー音が「プープープー、プープープー」と鳴っていませんか？	・一部車両によってはP/N 検出がうまく行えずエラーが出る場合があります。フットブレーキ配線を行ってください。	P20、24
使用中にメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴る。	・アース端子は確実に接続されていますか？	・アース端子を別の場所へ取直してください。	P13
その他	・動作が不安定	・アース端子を別の場所へ取直してください。	P13

付録

アフターサービスについて

取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身での取付けサポートは行なっていません。また、お客様ご自身で取付けられた場合は保証が受けられません。

保証書

- ・保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- ・保証書に販売店名、購入年月日を証明するものが無いもの、コピーした保証書は保証対象外とさせていただきます。

保証期間

ご購入日から3年間です。対象部分：メインユニット（リモコンは1年間）

※ ただし、電池などの消耗部品は除く。

修理を依頼されるとき

「初期設定および動作確認」（⇒P15～18）と「故障かな？と思ったら」（⇒P65～67）を参照し点検をしていただいても、なお症状が改善されない場合は、販売店へご相談いただき故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

- ・保証期間内の場合
恐れ入りますが、取付け販売店に保証書をそえて、製品をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。
- ・保証期間が経過している場合
取付け販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- ・本製品の故障による代替品の貸出しは弊社では一切行っておりません。
- ・本製品を修理のため、お送り頂く場合の送料および取付け・取外し等にかかる全ての費用は、保証に含まれておりません。あらかじめご了承ください。

アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

リモコンを紛失または破損

- ・リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。
- ・新しいリモコン（オープン価格）を購入された場合は、「IDコードの再登録」をご覧ください、IDコードの再登録を行なってください。（⇒P56、57）

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付け・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、弊社は一切の責任を負いかねます、あらかじめご了承ください。

製品仕様

リモコン

技術基準	RCR 標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429MHz 帯 2チャンネル任意切替式
識別 ID コード	1000 万種
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	± 4ppm 以内
周波数偏位	± 2.5KHz 以内
送信時間	3 秒以内
送信休止時間	2 秒以上
受信周波数	429MHz 帯 2チャンネル任意切替式
受信感度	- 116dBm (25℃) で安定動作
局発安定度	± 4ppm 以内
送受信アンテナ	ロッドアンテナ
動作温度範囲	- 20℃ ~ + 60℃
使用電池	リチウム電池 CR2025 × 2
ケース寸法	31 (W) × 58 (H) × 13.3 (D) mm 突起部除く
重量	26.0g (電池含む)

メインユニット

技術基準	RCR 標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429MHz 帯 2チャンネル任意切替式
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	± 4ppm 以内
周波数偏位	± 2.5KHz 以内
送信時間	3 秒以内
送信休止時間	2 秒以内
受信周波数	429MHz 帯 2チャンネル任意切替式
受信感度	- 116dBm (25℃) で安定動作
送受信アンテナ	ヘリカルアンテナ
動作温度範囲	- 20℃ ~ + 70℃
電源電圧	12V 車専用 (DC8V ~ 16V)
待機電流	平均 7mA 以下
リレー容量・個数	30A (IG1) 20A × 4 (IG2・ACC・ST1・ST2)
寸法	73 (W) × 115 (H) × 32.5 (D) mm (突起部除く)
重量	275g (コード含む)